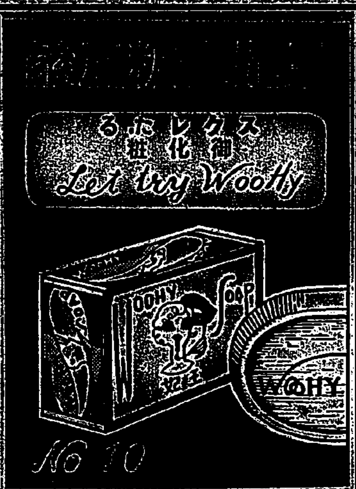
臺灣日日新報
本日八頁
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

御化粧 Let try Woohy
No 10

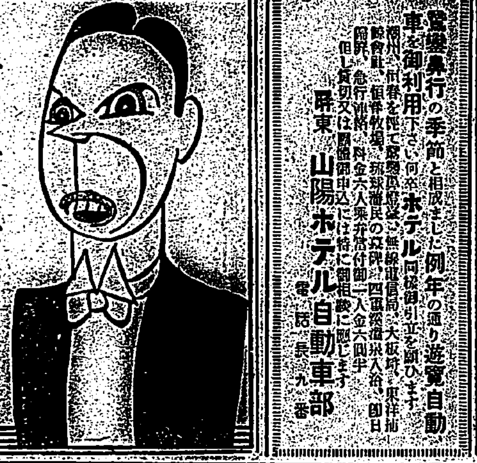


●世界的專賣特許●醫學博士栗田信先生御推奬
●齒の豫防と消化の劑●衛生的好適品
國産新高風船チウインガム
一個一錢 一包五錢

高級酒
理想的箱入高級酒
鹿島本家酒造株式會社

觀樂昇行の季節と相成りました例年の通り遊覽自動車を御利用下さい何卒ホテル同様御引立を願ひます
屏東 山陽ホテル自動車部 電話長九番

一ッ二ッ三ッと云ふ間に
齒痛が止る
今治水
主効
◇むし歯の痛 ◇齒の根の痛 ◇はぐしの痛
◇上の齒痛 ◇神經性の痛 ◇其他齒痛一切
價 二十錢 三十錢 五十錢
各藥店にあり
本舖 大阪・東京 丹平商會



有田燒
京町 谷山商行內
大好評 一週間延期 大投賣

產科・婦人科・乳兒科
千歲醫院
台北市千歲町

淋病・梅毒・外科・婦人性病科
田和皮膚科
台北西門町

耳鼻咽喉・隆鼻術科
須小醫院

齒科 口腔科
杉山醫院
台北市京町

▲內科▼
吉田內科醫院
台北市榮町一ノ五

內科 性病・一般外科
嘉義市 加藤病院

萬金物
物の卸デパート
大阪南區安堂寺橋通
大野合名會社

內科 眼科 大竹醫院（電話二二四〇）
肛門梅毒科 臺灣肛門病院

實業之日本
一月十五日号

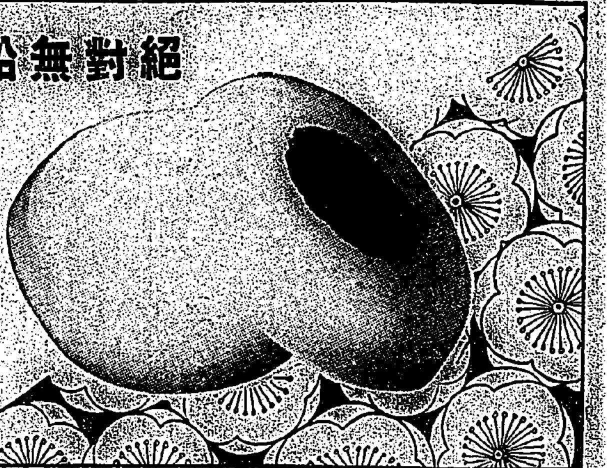
人の心を讀め 實業之日本社長 增田義一
無名の偉人 法學博士 新渡戶稻造
金再禁止で果して景氣は好轉するか
◎樂觀材料多し 三井物產常務 安川雄之助
◎好轉の望みなし 法學博士 波邊鐵藏
◎輸出增進の錯覺 前藏相 井上準之助
◎一時的泡沫景氣 東京海上常務 鈴木祥枝
◎物價騰貴の動向 前勸銀總裁 梶原仲治
再禁止と景氣豫想
再禁止は農村にどう響くか
サラリーマンにどう響くか
中小商工業にどう響くか
政變夜話 誰か一番うまくやつたか 隱士（安養寺）
新大臣の橫顔
◇野趣の人 大角岑生海相
◇日本刀的 荒木貞夫陸相
◇明朗大臣 鳩山一郎文相
◇出世物語 前田米藏商相
◇子煩惱の 秦豐助拓相
これからの財産家はどうしたらよいか 景氣研究所長 勝田貞次
◎再禁止値上り株番附 ◎新株を持つ人の注意 ◎今後の株式はどう動く ◎盛り場經濟學 ◎動產證券の投資研究 ◎廣告うら表
西式科學的斷食療法 西勝造
感冒の一夜撃退法 醫學士 櫻田十次郎
詐欺にかゝつて大損した体驗 寸での注意で詐欺を逃れた体驗 當選五篇
就職戰線偵察記 第一報
□第一生命□三越 □明治生命□日本郵船 □愛國生命□ほていや □白木屋□美松 □松坂屋□東京瓦斯 ―以下續々特報―
○身上相談 ○投資相談 ○滿蒙利權漫談
定價三十錢 東京京橋 實業之日本社

●齒痛に頭痛はガオガンで直る●

アダリン
催眠鎮靜劑
獨逸バイエル製
各地藥店にあり 說明書進呈
アダリンは無味無臭、服用容易持長連用するも副作用、習慣性を來さず。その睡眠は極めて自然的にして、覺醒後は爽快、何等不快症狀を呈せず。
包裝・價格 一〇錠（〇・一五）壹圓五錢 一〇〃（〃）四拾六錢
バイエル・イマスデルテルチウス
藥品合名會社
神戶郵便局私書函一〇七番
AD 169a

ウテナ花印コールドクリーム
白粉落しに……
鮮麗な濃化粧に……

絕對無鉛
ウテナ固煉白粉
ノビよく ツキよく 香ひよく
ついて落ちないウテナ固煉白粉 美しさのいつまでも變らないウテナ固煉白粉
白色……
肌色……
健康色……
肌色のすぐれない方は赤い健康色、健康美を求める方は白色と肌色
ウテナ固煉白粉 正價各色五十錢
ウテナ水白粉
ウテナ粉白粉
各色卅錢、五十錢
東京 久保政吉商店
7.1―85



榮養強壯劑 ラボカ
¥1,00
普及罐新發賣
壹圓
ヌクレイン酸製劑
最近世界の醫學界に初めて發見されたヌクレイン酸を製劑せるラボカは世界の最高榮養強壯劑として既にその實質は全醫藥界の公認する所である今回一般の試用に便する爲普及用として美裝一圓罐を新發賣せり
ラボカの一罐は健康への近道!!
健康を賣る
普及罐の使用は、その實質を敎へる――既に發展の第一歩だ細胞の根本から人体を强化する最高の學說を具現する高貴藥も諸君の實驗に待つて初めてその偉力を發揮するのであらう
主要適應症
榮養障害諸症
結核性諸症
神經性諸症
疲勞衰弱の恢復
精力體力の增進
文獻說明書贈呈
全國ラボカ販賣處 至る所の藥店に有り
小菅商會藥品部

男も女も手軽るに出來る
身長法
背の高くなる最新療法
全身發育不全、體質虛弱の人は特に御試み下さい
骨の低き人は高くなり强壯體となり有益
盛んに高評
ハガキで申込め身長器無料貸與
野村商會

日本髪でも洋髪でも
定價五十五錢
東京日本橋本石町
毛商店

故藤吉儀病氣入院中ノ處藥石効ナク本日午前三時永眠仕候間此段生前辱知諸賢ニ謹告候也
追テ葬儀ハ明十八日午後二時自宅出棺佛式ヲ以テ執行可仕候
昭和七年一月十七日
男 加賀亥之助
仝 加賀マサ
親族 加賀鶴吉
仝 加賀岩松
總代 田中愛之助
仝 江木義二
友人 萩原祐吉
仝 宇田伊代吉
總代 石堂佐一郎
仝 奥田清四郎
代 小林吉藏
町 田尻信次

亡妻ヤス儀病氣ノ處三日午後加療中ノ處本日永眠致候間此段謹告候也
男 青木靜
女 鈴木直
親戚總代 塚本壽
友人 塚本重政
仝 宮崎重毅
仝 清水
仝 田永
總代 李

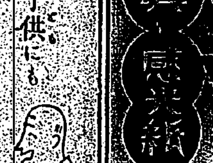
會葬御禮
藤井秀太郎
親戚一同

廈門 香港
パタビヤ 爪哇
振成興產株式會社
電話七四番・七九三番

近海郵船
大阪商船

運動用具は
臺北 臺日へ

ろ
老人にも子供にも
見易い複式反射
發明特許の丈夫で見易い一複式反射 一円 体溫計



製圖用紙
青寫眞感光紙
東京 櫻井大二郎商店 電話浪花五〇〇〇番

ハニナ
妙藥
嘉義市 藥局

國務省の高官連が我外交の洗練を賞讃
ス長官は批評を避ける

【ワシントン十六日發電通】アメリカの對日通牒に對する一月十六日付日本の回答は本日到著したがスチムソン長官は批評を避け國務省高官連は茲數年中に國務省が受取つた外交文書中最も拔け目のないもので日本の外交技術の洗練を物語るものと言つてゐる、尙門戶開放政策維持には滿足の態である

滿蒙新國家首腦部
東三省首腦部會議で決定

【奉天十六日發電通】十五日より奉天に開催された滿蒙新國家政府に關する東三省首腦部會議は相當進捗を見つつあるものの如く新國家首腦部も近く決定を見る模樣で仄聞するに右首腦部は大體左の如くである

大總統〇〇〇　行政委員長臧式毅　司法院長趙欣伯　監察院長張景惠　資源委員長于冲漢　交通委員長丁鑑修　奉天省長臧式毅兼任　吉林省長熙洽　黑龍江省長馬占山

外交關係斷絕宣布は中央執監會議で決定
投票により可否をきめる
對日方針益々硬化す

【南京十六日發電通】十六日の行政院會議で對日外交關係斷絕宣布問題が討議され孫科陳友仁等は極力斷行宣布論を支持したが政府部內に斯の如きは徒らに日本の術中に陷り重大結果を招致するとて强硬に反對するものありて決定を見るに至らず二十日頃臨時中央執監全體會議を開き投票に依り可否を決することとなつた、對日國交斷絕反對の急先鋒は吳稚暉、顧孟餘等で蔣介石派領袖は總て陳友仁の外交方針に反對し居り旁々孫科が之等の反對を押切つて斷行宣布を爲す決意あるやは疑問とされてゐる但し國民政府內に日支直接交涉を主張するもの等一人もなく對日方針は益々硬化するのみで新政府が猶日支直接交涉を外交方針の目標としてゐる等と信ずるは最近の政情の變化を解せぬものである

古賀聯隊襲擊の兵匪
我飛行隊より爆破さる
逃げ惑ふ敵は機關銃で薙ぎ倒す

【錦州十七日發電通】我が飛行隊〇〇機は十七日午後二時紅螺山中に兵匪の見張りらしきものを發見し地上三百米の低空より更に根據を搜索せる所森林中に材木を積重ねた多數の山寨らしきものを發見したので之を空中より爆破し逃げ惑ふ敵は機關銃で薙ぎ倒した、右兵匪は古賀聯隊を襲擊した大集團の兵匪の一部で飛行隊の奇襲に依り美事に古賀聯隊の復讐をなした譯である

錦西地方の兵匪
依田〇團が大討伐

【錦州十七日發電通】錦西地方の兵匪は依田〇團の三回に亙る大討伐に依り大損害を被り遠く西方熱河方面に擊退されたが室〇〇師團長は兵匪を遼西より徹底的に掃蕩するため連續的に討伐を實施する樣各隊に命令した

支那側誠意を示し
陳謝、處罰を打合す」
上海の不敬記事掲載事件

【上海十六日發電通】民國日報の不敬記事事件に關し村井總領事は十六日午後白井副領事等を派し同吳鐵城市長を訪問し日本の國民に鑑み本件の重大性を指摘して我が申入事項の速かなる實行方を要求したるに對し吳市長は本日の民國日報は政府側の注意に依り取あへず弁明文を載せ謝罪の意を表してゐることを述べると共に我方の申入事項に付き誠意を示し目下陳總監等の具體的方法に付き打合中である

模型飛行競技會

十七日午前十時から臺北高等學校工科會主催の模型飛行機競技會が臺北練兵場で行はれた。當日は冬季に珍らしい上天氣であつたが風が强いためか二十七名の參加申込者中棄權者多く八機だけで競技が行はれた。而し[illegible]だけに人氣は素晴らしく學生其他の見物人が三百名以上も押しかけて模型機が飛ばされる每に歡聲をあげて喜んでゐた

對日國交斷絕は近く斷行の決意
陳外交部長豪語す

【南京十六日發電通】外交部長陳友仁は本日記者に對し左の如く豪語した

對日國交斷絕は事情已むを得ぬ具體案は政府に提出中であるが近く斷行の決意だ、この案は最も效果あると思ふ

我軍の後方攪亂
學良が義勇軍へ嚴命
別働隊は腹背より襲擊を畫策

【奉天十六日發電通】張學良は北平に招致した黃顯聲に對し義勇軍を以て更に日本軍の後方擾亂をなし東北新政の端緒を作るべしと激勵し義勇軍組織の之が經費として三十萬元を手交した、黃は十五日熱河方面に在る義勇軍に對し[illegible]兩三日中に錦州を襲擊すべく嚴命を下した、尙山海關、錦州方面一帶の學良軍は依然山海關以東の日本軍に對峙狀態を續け錦西方面の別働隊は日本軍の背部より襲擊すべく十六日朝來一齊に突發的に出て來てゐる

汪精衛杭州で
蔣介石と會見
對日國交斷絕に
蔣の承諾を求めん

【上海十七日發聯合】杭州來電によれば汪精衛氏は十六日午後十時四十五分杭州着直ちに宋子文氏と共に蔣介石邸に赴き蔣氏と會見した蔣氏は非常に喜んで汪氏を迎へ今朝一時に至るも會談を續けてゐる

【南京十六日發電通】病氣中の汪兆銘は蔣介石と會見のため十六日午後六時半突如杭州に向つた斯は對日國交斷絕に蔣介石派の要人が反對し居るため蔣の承諾を求むるためと見られてゐる

舊東北軍憲の財產を沒收
新國家建設基金へ

【奉天十六日發電通】奉天、吉林、黑龍江各省政府は東三省軍閥財產整理委員會を組織し學良初め舊東北軍閥關係者の財產を沒收處分に付し之に依つて生じた代金を新國家建設の基金とするに決し該委員會は十六日成立した

聯盟の支那代表部
又も理事會に泣付く

【ジュネーヴ十六日發電通】聯盟支那代表部は左の如き通牒を送り理事會に泣き付いた

吉林省首府が占領されて以來省政府は臨時首府を省城に移した所日本軍は又もや臨時首府を空中より爆擊した、斯は日本軍が滿洲各地より總ての支那軍隊を驅逐せんとする新な意圖を有することを明白に立證するものにて日本は聯盟規約と理事會の決議を甚しく侵害したものである

能動的に解散斷行か
首相、外相の演說後に

【東京十七日發電通】第六十議會を眼前に控へ二十日には政民兩黨とも大會を開き出陣の勢揃ひをなし二十一日の休會明議會に花々しく臨まんとしてゐる、政局の眼目として解散斷行を決定するのは早いが犬養首相が安達一派との聯立內閣を斷つて單獨內閣を組織したことは今更解散回避の小策を弄することもなく唯問題は解散斷行の時期を何時にすべきかにかかつてゐる、普通の觀察よりすれば野黨たる民政黨が不信任案を振り翳して政府に挑戰して來た場合に解散斷行と來るのであるがそれでは政府が受太刀となるので政府の方より進んで能動的に解散斷行期を定むべしとの說が政府部內及び與黨內に高い、即ち二十一日午後犬養首相芳澤外相の演說後野黨側の質問演說者が一人位登壇し演說を終了した時期に解散を斷行すべしと言ふにある

安達氏に代り
井上氏起つか
解散準備の民政黨

【東京十七日發電通】民政黨は勿論議會は解散と見極めを付け解散對策を講じつつあるが選擧の神樣たる安達謙藏氏今や黨內に存在せず一抹の冷氣が黨內にあるが然し井上準之助氏が今や隱然たる黨人として民政黨のため[illegible]選擧戰の如きも氏が一手に引受くべしとの[illegible]も黨內に相當根强く[illegible]つて居り之等人氣を引立たしめ必勝を期してゐる尙政府攻擊に最も上きは櫻田門外事件であるがその先陣は中野正剛氏なき今日誰を立たしむべきやは苦心の存する所であるが永井柳太郎氏が適役なるべく又永井氏が得意の雄辯を以て政府に肉迫して行く壯觀さは蓋し近來の壯觀であらうと早くも期待されてゐる

民政黨の新役員
大體の顏觸決定

【東京十七日發電通】民政黨では休會明議會に臨むに當り二十日の黨大會席上黨務外本部役員を指名發表して院內外の陣容を整へることとなつたがその顏觸れは大體左の如くである

總務（十名）井上準之助（東京）[illegible]九州）木檜三四郎、小泉[illegible]（關東）山本厚三（東北北海道）加藤鯛一又は井上剛一（東海）櫻內幸雄、[illegible]小川鄕太郎、川崎卓吉（中國）小西和（四國）
顧問（追加）[illegible]、吉田[illegible]、潮田宇八、高木正年
幹事長　永井柳太郎（留任）
政務調査會長　[illegible]敬一郎
黨務部長　野田文一郎或は加[illegible]
情報部長　大麻唯男或は清水[illegible]
遊說部長　內ケ崎作三郎

汪蔣の諒解
成立するか？

【杭州十七日發電通】汪兆銘は十六日午後十時上海より杭州着直ちに蔣介石と懇談を遂げた、兩氏の諒解成立せば兩氏揃へて南京に乘込むべく蔣介石の政權に汪兆銘と言ふ大看板を一枚加へて復活することとなる譯である

吳佩孚の再起は
于學忠の態度一つ

【天津十六日發電通】吳佩孚が綏遠に到着するや張學良は彼の歡心を買ふべく北平入を懇請してゐるが當地の要人は吳佩孚が北平に入れば監禁される恐れあれば[illegible]を見屆けるまで綏遠に止まるべしと勸告を發した、吳の再起は彼の舊部下于學忠の態度一つにかかつてゐる

米の通牒へ對する
國民政府の回答
十六日米政府より公表

【ワシントン十六日發聯合】ケロッグ不戰條約並びに九ケ國條約を引用せるスチムソン氏の通牒に對する國民政府の回答は右同文通牒に對する日本政府よりの回答の後受後本日國務省より公表されたがその要旨左の如し

支那は九ケ國條約並にケロッグ不戰條約を固守するが如何なる條約乃至協約をも締結する意思を有せず支那は米政府が右條約を確保するため國際的努力の效果を更に增進せらるべきことを希望す

伯國大使
林奉天總領事に決定

【東京十七日發電通】目下歸朝中の林奉天總領事はブラジル大使に內定してゐたがブラジル國政府より林氏に對するアグレマンが到著したので近く正式に決定し任式を擧行せらるることとなつた尙赴任は三月上旬になる模樣である

張海鵬
奉天に向ふ

【洮南十六日發電通】張海鵬は四洮、洮昂線の治安維持、內蒙古自治團と奉天省との聯絡、今後の措置に就き臧式毅と協議する爲め十六日夜奉天に向け出發した

奉天省政府
外交署新設

【奉天十七日發電通】奉天省政府は列國との國交親善を圖る爲め今回外交署を設置することに決し外交署長に王鏡寰（瀋海鐵路總務部長）が內定した

スペイン廢帝瑞西へ

【パリ十六日發電通】スペイン廢帝アルフォンソ十三世は十六日午後十時當地發瑞西に向はれた

民政黨政策中
の字句を改訂

【東京十七日發電通】民政黨政策中の國債の安定の字句を通貨膨脹の防止並に爲替相場の安定と改訂に決した

次田大三郎氏
民政黨に入る

【東京十七日發電通】前內務次官貴族院議員次田大三郎氏は十六日民政黨に入黨した

朝鮮部隊を
內地より交代派遣
軍制の改革に伴ひ
永く駐兵は困難

【東京十七日發電通】目下關東軍の中堅をなしてゐる朝鮮軍管下の混成二箇旅團を長く滿洲に留むることは軍制改革に於て朝鮮增師をも決行せんとしつつある今日の情勢に合致せざるを以て之を原駐地に歸還せしめその代りに內地より同數程度の部隊を交代派遣すべしとの議が關係當局間に於て行はれつつあり恐らく來月中にはその運びに至るものと解せられてゐる然して右交代補充が實現する場合その先陣を承はるものは既にその師團管下より混成二箇旅團を派遣してゐる內地第〇師團の師團司令部以下殘餘部隊と見られてゐる

聯盟の日本理事
佐藤尙武大使に決定

【東京十七日發電通】外相に就任した芳澤氏の後任として佐藤尙武大使を國際聯盟理事會日本理事に任命すべく交涉中であるが十九日の閣議で正式に決定される模樣である

本年度滿洲事件費
二千九十萬圓に決定

【東京十七日發電通】本年度二月よりの滿洲事件費は十六日の大藏省と關係省と交涉の結果總額二千九十萬圓と決定した

福原鐐二郎氏逝去
十七日朝腦溢血で

【東京十七日發電通】前帝國美術院長貴族院議員福原鐐二郎氏は腦溢血にて療養中の所十七日午前四時四十分牛込の自邸で逝去した享年六十五歲（寫眞は福原鐐二郎氏）

十九日告別式

【東京十七日發電通】故福原鐐二郎氏の告別式は十九日午後二時より靑山齋場で執行される

社會事業講習
會閉會式

第五回社會事業講習會閉會式は十七日正午から教育會館に於て擧行された[illegible]テーラー博士、中村[illegible]北州社會事業主事、安井小兒科醫長等並に本島各地より集合せる七十餘名の講習生出席、先づ[illegible]會課長は人事課長代理として[illegible]この效果を實際的に[illegible]せしめんことを希望し、次いで[illegible]講師を代表し[illegible]山岸氏講習生を代表して答辭を述べ[illegible]修了者十二名は式後直に[illegible]に向つた

內債モラトリアム
結局實施の外あるまい

【南京十六日發電通】內債モラトリアム案は臨時全體會議に持越されたが浙江財閥が政府を支持せぬならば之を實施する外あるまいと見らる

投票するに決定
モラ案も全體會議で
新公債は年內に發行せぬ

【南京十六日發電通】十六日の政治會議は內債モラトリアム案に關し討議の結果對日國交斷絕案と共に近く臨時全體會議を開き投票することに決したモラトリアム案に依り一億三千萬ドルの支出を減じ年內に新公債を發行して危機を救ふの要なしとしてゐる

モラトリアム案を
放棄、軍費減額

【南京十六日發聯合】本日上海より張羣、張靜江兩氏が到著し孫科氏と會見し上海の銀行團が政府援助に同意したるも六ケ月のモラトリアム案には絕對反對なる旨を傳へたが、その後確實な筋より聞く所によれば政府は右モラトリアム案を放棄し且つ行政費を更に四百萬元から二百萬元に減額することに同意したと、從つて目下主要問題は現在月額千八百萬元に達する軍事費の削減にあり右に關しては最少限度の減額が要求されてゐる

昨年度の
佛國貿易
未曾有の逆調

【パリ十六日發電通】昨年度のフランス貿易は本日發表されたが輸入超過は百十一億七千八百萬フランで未曾有の逆調である

人事

▲折下吉延氏（臺灣總督府技師）十八日蓬萊丸にて歸京
▲藤崎二郎氏（元總督府技師）十七日來臺

會事

▲臺灣地理學會例會　十九日午後三時より[illegible]に開催、川村助教授「北米旅行談」、[illegible]助教授「民族と古代文化」

シナチク

明大軍も新年の怒濤に色々な刺戟を殘して歸京の途についたが、同軍旅行中には可なり面白い挿話も多かつた、その中で發表してよいものだけ三、四次に▲[illegible]監督も天知名選手も[illegible]部長の所と[illegible]の喉には[illegible]したらしい、「御大と一緒は勘忍してや」と悲鳴をあげ、同室になることを取り下げにしてゐた▲通稱「のんきな父さん」こと松木選手は米見學に行く途中海の道で水牛に出喰つたが此の時ばかしはのんきに構へて居れず「助けて吳れ」とばかりに[illegible]マネーヂャーの首にしがみついた▲球場の人氣を集めた松井久選手、愈々臺北を離れんとしたときは眼に淚、離別の意義を感じたさうだ、ヒーローは人情には脆い▲眠れば所構はずの如き岩木部長殿には弱い、明大軍が全高雄を擊破した夜歡迎會で全高雄の有志が「野球ぢや負けたが酒では」と豪語するのを「選手は酒を飮ません」と一喝、「私がお相手致しませう」と孤軍奮鬪は勇ましい光景であつた▲明大選手仲間の流行語グロッギイに相應しい事件が起つた、米見學に向つた選手一行中でも松井君に次いで巨軀の山縣、山田の兩選手が仲よく臺車に同乘したのは良いが何しろ兩人の體重を合すと四十二貫といふのだ、遂に臺車押しの苦力が坂道でアッパーカットを喰つたボクサーのやうにグロッギーになつてしまつて新手の苦力と交代。

稻江信組
總會

臺北稻江信用組合第十五回總會は十七日午後二時二十分より市內蓬萊閣に於いて擧行した、出席者は來賓として督府玉手金融課長、岩田北署長、州小池產業主事、陳其春氏外多數、組合側からは郭廷俊組合長、張清港常務理事、陳茂通監事他各役員を始め組合員總數千二十八名の中出席者委任狀計五百八十八名、定刻先づ常務理事張清港氏立つて開會を宣し次いで組合長郭廷俊氏の挨拶の辭、事業報告あり、續いて陳茂通氏の監事監查報告の後組合長郭廷俊氏が議長に推されて

一、昭和六年度財產目錄、貸借對照表、事業報告及剩餘金處分案の承認
一、取引銀行の件
一、準備金及各種積立金を事業資金に融通する件
一、借入金最高限度の件
一、組合員に對する貸付金最高限度の件
一、役員の報酬に關する件

を滿場一致で可決し、[illegible]の件は[illegible]と決定、次いで[illegible]の他の件に移る[illegible]因みに同組合の本年度の剩餘金は出資金二十六萬八千餘圓に對し四萬二百餘圓で年八分の配當をすると云ふ好成績を示してゐる

最初の本島圖書館は臺日から生れた

臺灣文庫から出來るまで

今では本島に七十といふ圖書館が出來、わけても臺北の圖書館は十三萬冊餘の藏書を持つてゐるが本島圖書館の發生に就てはなか〳〵面白い話がある。而も本島圖書館の濫觴は實に臺日の

編輯部內 で興つたと言ふから愉快である。即ち臺日の創刊は明治三十一年であるがこの年編輯局の人間に圖書館の必要と是れの設立の動議が持上つたところ、當時の社長守屋善兵衞氏は早速賛成して自分の藏書全部を提供するなど此處に臺灣の圖書館の端が形成されたわけである。當時の編輯長栃內正六氏は同年八月社說に圖書館の必要を提唱したところ、忽ち反響あつて石塚參事官長（後の臺灣總督）祕書課長木村匡氏、國語學校長（今の師範學校の前身）町田則文氏、軍醫部長藤田嗣章氏（畫家藤田嗣治氏の親父）等の賛同を得て計畫が熟し、明治三十三年東宮殿下の御成婚を期して資金

藏書を募 つて臺灣文庫を組織し三十四年一月二十七日當時官民のクラブであつた淡水館（今の偕行社の近所に在つた）で臺灣文庫を開庫した。即ち實質上にかて是れが臺北圖書館の前身であるから臺灣文庫の名に依つてその第一步を切つたわけである。それ等の成行は明治三十四年一月二十七日の「臺灣文庫開庫に際して」と題する

臺日社說 を讀む時は其の概略を知る事が出來る。その論說には「三十一年八月に際して吾儕は臺灣地方人文開發の爲めに將た新領土の社會的品性を進めんが爲めに人智の開發を以て利源の拓殖を完からしめんが爲めに個人自助教育の機關として圖書館設立の本島にかける急務なることを提唱し」とあつて本島に圖書館設置の第一聲が先づ臺日編輯部內に擧がつた事を示し「當務の委員を設けて本島圖書館創設の第一步此に立つ」と編輯同人の努力を述べ「翌年十月に至りて此の計畫漸く熟し」で有力官民の協議を訖き「昨年五月に至つて東宮殿下御慶事の當時に際し輿論靡然期せずして臺灣文庫組織の趣旨に集中した」と臺灣文庫の生立ちを說明してゐる。又當時の

臺灣文庫 の諸規則を見ると

開庫は午前九時より午後三時迄　午後六時より午後十時迄

と中間に休憩時間を設け

閱覽料を徵收して

普通一回三錢、十回券二十五錢　三十回券五十錢

特別一回五錢、十回四十錢、三十回八十錢

と回數券制度としたのも面白く

兵士巡査諸君は半額

の但し書も興味がある。而し學生の文字が見受けられないのは當時學校と云ふものが殆ど存在してゐなかつた關係だらうと思はれる。

此の臺灣文庫の管理はやがて

臺灣協會（後の東洋協會）に委囑されたが、臺北の市區改正に伴つて淡水館が道路となるため取り毀される事になつたので三十九年八月に臺灣文庫は閉館の止むなきに立ち至つた。かくして臺灣文庫は遂に扉を閉ぢたが其の後の東洋協會は屢々「官立圖書館の設置」を建議し其の目的が達成されて大正三年總督府圖書館官制が制定されたのである。そして臺灣文庫の藏書二萬餘冊は全部總督府圖書館に移管され現在十三萬餘冊の藏書の一部を成してゐるわけであるが、現在でも一萬冊以上の藏書を持つ圖書館は全島で三館しかない位だから當時の臺灣文庫は相當に

形の整つ た圖書館であつた譯である。そして當時臺灣文庫がどうして一萬冊以上の書籍を蒐集したかに就ては面白いエピソードがある。其の事に就て一つ總督府の史料編纂に從事してゐる尾崎氏に聞く事にしやう。

× ×

尾崎氏の部屋は總督府の二階にある。部屋は狹いが尾崎氏の部屋は總督府內で一番華やかである。美しい事務員諸嬢が七八人目白押しに並んでゐる其傍で尾崎氏は黴色じてうす汚い創刊當時の臺日の綴の頁を一枚々々めくつてゐる。美しい女事務員も臺日の古い

綴り込を 前にしてゐる。その樣はいささか部屋の華やかな雰圍氣と調和を缺くが當時の社會相を知るには當時の臺日より外參考になる物がない。

と云ふ、そして話頭を臺灣文庫に轉じた

臺灣文庫が事實上に成立したのは明治三十三年一月二十日の創立總會にかてである。是れの發起人で而もほんとうの主唱者は當時臺日の編輯長栃內正六氏（今の大稻埕劇後援院氏）であつた。そして同年五月の東宮殿下御成婚に際しては御成婚

記念こし て全員を集めそれに依つて圖書集成と別に美術に關した全集物を購入したが圖書集成は支那の大文庫で又世界で一番大きな文庫であり當時日本で此の圖書集成を持つてゐるのは內閣文庫と東京の上野の圖書館の二つ限りだつたので臺灣文庫としてはなか〳〵自慢だつたわけである。何分當時は戰爭氣分が甚だ濃厚で臺北を土匪が圍むといふやうな物騷な時代だつたので、無論臺北には一軒の本屋もなかつた。だから書籍を集めるには非常な困難を感じたが、またそれだけに文庫の必要が痛感されたわけである。實際臺灣文庫が書籍を集めるには半ば

強制的の 手段に依つた。官吏や將校連が內地に轉勤する時には早速押しかけて一冊でも二冊でも持つてゐる本を臺灣文庫に寄贈させた。內地に引揚げる者には一冊の本も持ち歸らせないと云ふ方針で書籍を集めた。三十五年栃內氏が臺日をひいて內地に歸る時にも藏書全部を臺灣文庫に殘して行つた。臺日社長守屋善兵衞氏が臺日社長をよした時にも臺北官民からの餞別金全部を文庫に寄贈した。文庫はその金で守屋文庫を作つたが、當時の總督府內田嘉吉氏が引揚げる時も寄贈を受け內田文庫を作つた。かういふ風にして臺灣文庫の藏書は次第に增し遂に

一萬冊を 越したが市區改正で淡水館が取こわされたので止むなく閉館して、臺灣文庫の藏書は總督府圖書館の出來上る迄今の臺北公園にあつた天后宮に保管されてゐたのである。

三宮妃殿下の御台臨を仰ぎ
愛國婦人會の新年祝賀會

愛國婦人會では十二日午後一時半から九段牛ヶ淵の同會本部に於て總裁東伏見宮殿下を始め秩父、賀陽兩宮妃殿下御台臨の下に新年祝賀式を擧行、會長、副會長、役員の挨拶あり堀內中將の講話並に奇術、講談等の餘興があつて午後四時散會した（寫眞は東伏見總裁宮妃殿下（左）秩父（右）賀陽宮兩妃殿下、外會長、役員）

第二の故鄕臺灣を愛す

前鐵道大臣　原　脩次郎

余が過去半世の生涯を賭したる臺灣の地は第二の故鄕として、自ら深い親しみを有つて居る。余に取つて臺灣の地は決して單なる日本の植民地ではない。余は臺灣を墳墓の地とすべく壯年時代を此の土地に力瘁して來たのである。今當時を回顧して幾多の苦難と難關を偲ふとき、懷かしき過去の

追憶に 自ら心の時めきを禁じ得ないのである。臺灣は矢張り余の第二の故鄕である。余は臺灣を開發し臺灣の繁榮と文化を飛躍上にも向上發展せしめ、日本の樂土を此處に築き上げたいといふ考へを寸時たりとも忘れた事はない。偶々昨年四月、若槻內閣の成立と共に拓務大臣に親任せられたが、身不肖なりと雖も、これ正に平素の希望を實現し、臺灣を初め、各植民地を

理想境 たらしむべき絕好の機會なりと信じ心私かに喜んで居たのである然るに就任後幾干もなくして拓務省は行政整理の厄に遭ひ廢止せらるるの止むなきに至り余の平素の希望を實現する餘裕のなかつた事は甚る遺憾とする所である。拓務省の廢止は元より余の同意し難き所であつたが、世界的不景氣に基く國家財政の缺陷は政府各般の施設に一大緊縮を齎さねばならぬ情勢を誘致し、拓務省がその犧牲の一端に加へられた事は遺憾ではあるが、亦止むを得ない次第である。余が拓務行政に攜はつた期間は甚る短かかつたが其間臺灣の官民諸氏が余に寄せられたる御援助と御同情とは余の終生忘るべからざる所であつて、深き感謝を受けたのである。それにも拘らず疑獄問題の

捲き添 へを喰つて植民地[illegible]問題の如きが起つたのは余の甚る遺憾とする所であるが、更も角も之れを最少限度に止め得た事は、全く諸君の御援助と御努力の結果として、余のせめてもの慰めであつたと考へて居る次第である。その後余は政界の變動に伴つて鐵道大臣の地位をけがし今日に於いては若槻內閣の辭職と共に野に下つたが、假令余が如何なる地位により如何なる境遇にあらうとも余の臺灣を愛する心持に些かも變のあらう筈はない。余はこの力の及ぶ限り努力の出來る限り今後とも臺灣の爲に盡すであらう事を臺灣の人々に誓ふ次第である。光輝ある昭和七年の新春を迎ふるに當り諸君の健康と臺灣の隆昌を祈つて年頭の辭とする次第である

圖案水竹居主人

鹽谷壽石

JFAK　十八日

▲午前六時三十分　朝の挨拶、ラジオ體操、今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

▲午前八時　全國氣象通報（東京）

▲午前九時三十分　家庭百科問答　一、再び鷄の鬨唄きに就いて　二、科學教育とは

▲午前十時　今日の家庭料理獻立　一、なべ料理二、するめのお料理　料理法解說（三）靜修女學校　猪山喜子

▲午前十一時　日用品小賣値段　臺北市公設西門市場發表

▲午前十一時五十九分　正午の時報、氣象通報（臺北測候所發表）

放送局編輯ニュース

▲午後零時二十分　晝間娛樂時間（レコード演奏）浪花節一、雷電八角の取組（木村友衞）二、孝女のお露（吉々木米若）

▲午後五時　子供の時間　少年運動講座「ウインター・スポーツ」小島六郎（コドモノテキストの八ページ）

▲午後五時三十分　英語講座（東京）初等科（第四課）寺西武夫

▲午後六時　子供の時間　童話「二人のおばさん」井ノ口馴夫

▲午後六時三十分　産業ニュース（東京）

▲午後七時　演藝娛樂（大阪）（東京府下荏原町新國劇演奏所より中繼）「未定」日本放送交響樂團、指揮山田耕作

▲午後八時　掛合漫談（東京）「未定」（第一席）德川夢聲、古川綠波

▲午後八時四十分　細心流琵琶（臺北）「船弁慶」鈴木雷水

▲午後九時二十分　時報▲氣象通報（臺北測候所發表）▲臺日ニュース▲放送局編輯ニュース▲公示事項▲明日のプログラム發表

在つて無き二つのもの

基隆市民の訴へ

基隆に大切なものであつてなきが如きものが二ツある曰く圖書館、曰く武德殿どんなちつぽけな町にだつて立派な

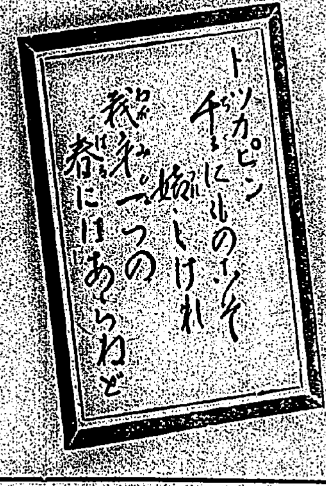
圖書館

と武德殿はある、人口七萬五千の大基隆としてはちと恥かしい次第何とかして貰ひたいものだ、公益社經營の文庫は大正十四年石坂莊作氏から引き續いて現在では慶安宮の片隅に埃の積むままに任せ圖書館と云ふには餘りに貧弱すぎて淚がこぼれる州下各地では立派な公設のものがあり私設の新莊でさへ二九〇圓の經常費で和漢書九〇八冊をもち士林は一、三四三圓の經常費に書籍三、三一二冊を持つてゐる基隆は私設で經常費五一四圓、書籍は和漢一九、一六四洋書一、四六六で多い方だが之とて石坂氏の努力によるもので公益社になつてからと云ふものは市の補助金年五百圓も貰つてゐながらこれぞと云ふ程增えてはいない、本年四月からは市營になつて新設公會堂の三階におかれ市民もやつと思ふ樣に利用出來る事になり經費も經常費千六百圓以上支出されるらしいから人並と迄は行かずとも改良への一步を踏み出した譯だから有難いが獨立した家屋はほしいものだ

武德殿

大正十三年公益社の力により弓道柔道、劍道各部の有志の二千五百圓の寄附を併せて七千五十圓の工費で出來上つたものだが之とて基隆程の町にあるものとしては餘りに貧弱すぎる、弓をやる紳士方の遊び場所だけであつてはならないもつと一般が有效に利用出來る程の堂々たるものが出來てほしい年頭に當つてこの訴へを當局へ送る

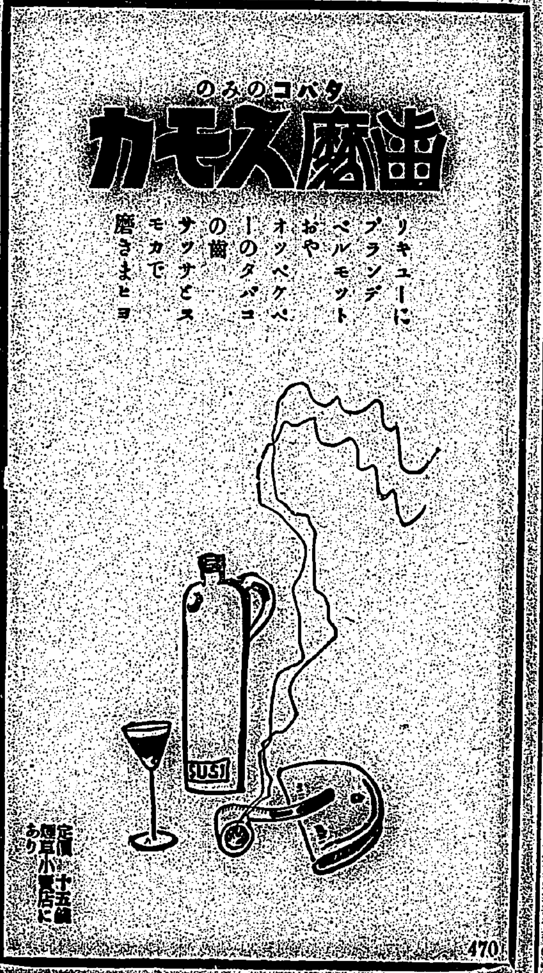
せき 喘息に
注射に優る
內服新藥スペクトン
川村、眞井、西下、常久各醫學博士實驗證明
本舖　大阪市東區　小林藥學實驗所


トツカピン
千々にものこそ嬉しけれ
我が身一つの
春にはあらねど

倉式卓上用アルコール厨爐
體裁優美・堅牢・經濟・輕快
燃料變性アルコール火災絕對安全
青焔　強熱　無煙　無臭
新發賣
特長　調節器に依り火加減自由自在にして臺所客室に好適なるのみならず、遊山、船行には携帶便なり
倉印卓上コンロ發賣元
荒物雜貨　團扇蠟燭　問屋　尾張屋號
倉西垣重之助商店
大阪市天神橋筋二丁目　電話北三八九七　振替大阪二八一九
（御照會乞）

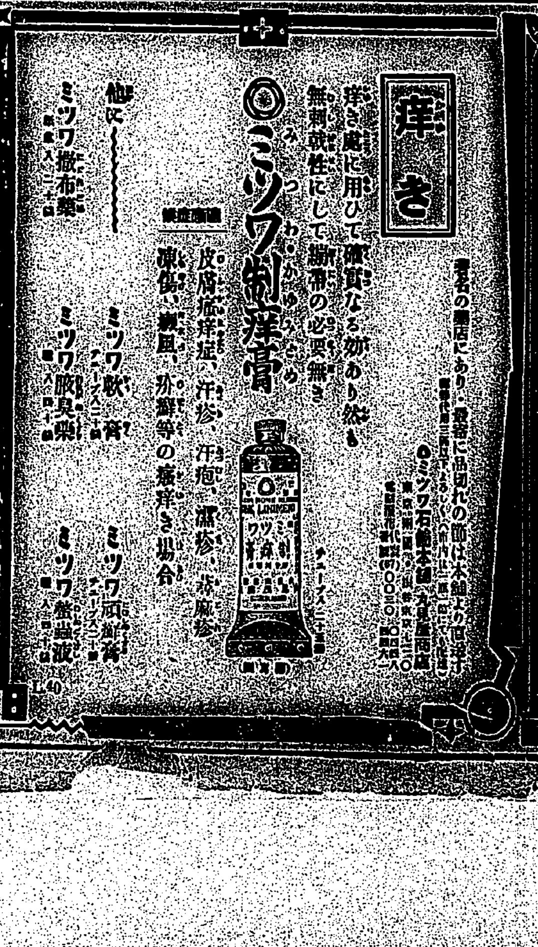
職業
遠近男女自宅で出來る永久有利の仕事
大阪市東區川崎町　文洋社總本店

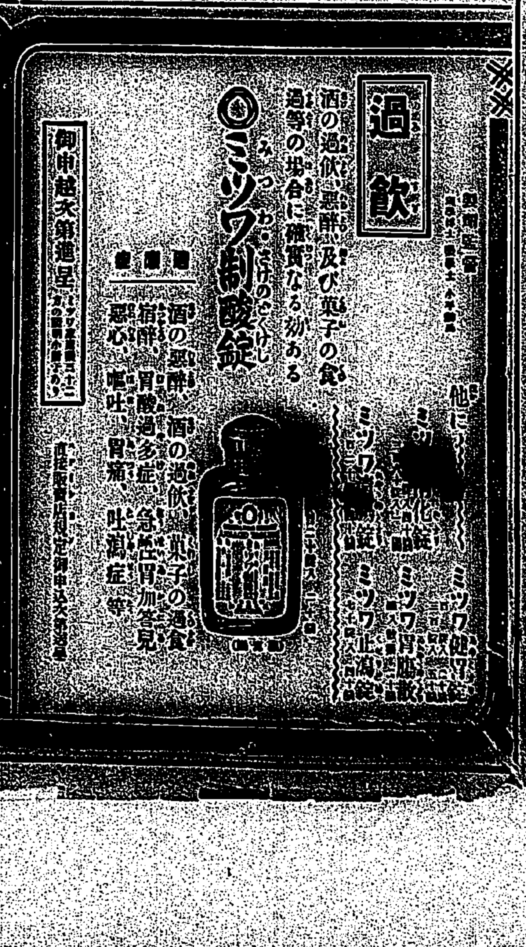
運動用具は
臺日へ
電話　四八三番


タバコのみの
スモカ歯磨
リキユーに
ブランデ
ベルモツト
おや
オツベケペ
ーのタバコ
の歯
サツサとス
モカで
磨きましョ
定價十五錢
煙草小賣店にあり
470

貧血、病後、衰弱に　ポリタミン
●四百三十名の醫學博士推奬　補血強壯劑　ポリタミン

新發賣
錠劑ポリタミン
弱い小兒の強壯劑
チヨコレート入の頗る美味なポリタミン錠
1 風邪にかゝり易い、病身の子達
2 血色わるく、元氣のない子達
3 肉や卵を食しても効なき子達
4 食慾すゝまず、胃腸弱き子達
こうした子達の
強壯劑として多數の小兒科醫、學校醫の推奬するポリタミンのチヨコレート入小形錠劑が新發賣されました。菓子代りに用ひ、先づ食慾をすゝめ、血色を良くし、體質を根本的に強壯にして、風邪や結核に對する抵抗力を強める等その効果の速かで確かなことは他の榮養劑に見られぬところです。
小瓶（八〇瓦入）壹圓貳拾錢
大瓶（一五〇瓦入）貳圓
健康と蛋白（冊子）及び醫家の推奬報告書無代送呈
發賣元　大阪市東區道修町　合資會社　武田長兵衞商店（大五製藥株式會社製造）
13-1202（O）

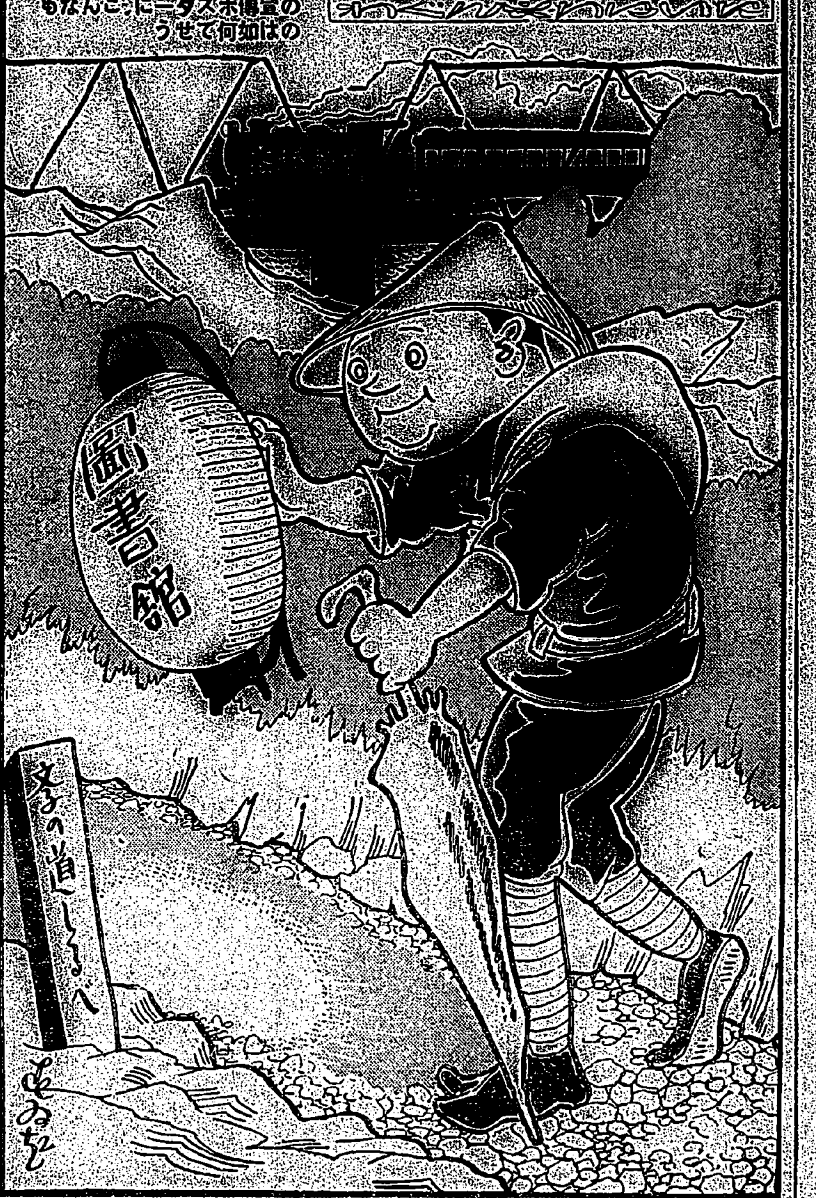

痒き
痒き處に用ひて確實なる効あり然も無刺戟性にして繃帶の必要無き
◎ミツワ制痒膏
（適應症）皮膚瘙痒症、汗疹、汗疱、濕疹、蕁麻疹
凍傷、癩風、疥癬等の瘙痒き場合
他に
ミツワ撒布藥　ミツワ腋臭藥　ミツワ軟膏　ミツワ頑癬膏　ミツワ蟄蟲液
全國の藥店にあり・最寄に品切れの節は本舖より直送す
◎ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店
L40

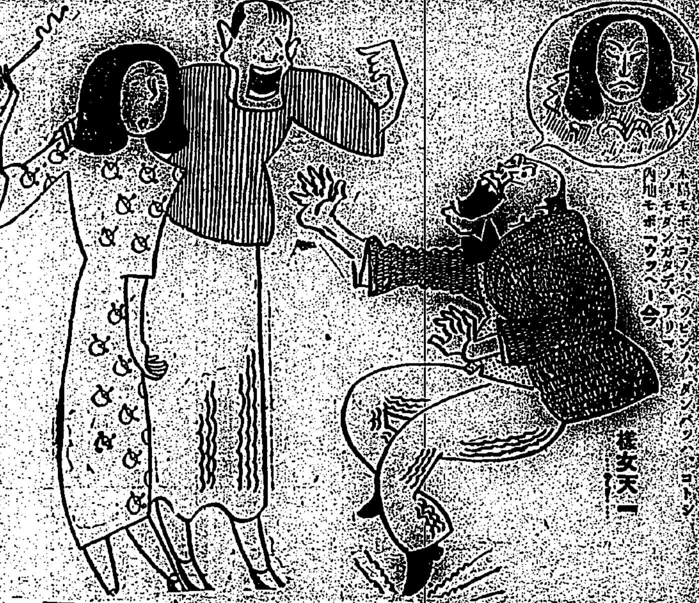

過飲
酒の過飲、惡醉及び菓子の食過等の場合に確實なる効ある
◎ミツワ制酸錠
（適應症）酒の惡醉、酒の過飲、菓子の過食
宿醉、胃酸過多症、急性胃加答兒
惡心、嘔吐、胃痛、吐瀉症　等
他に
ミツワ健胃錠　ミツワ消化錠　ミツワ胃腸散　ミツワ止瀉錠
御申越次第進呈
直接販賣店規定御申込次第進呈

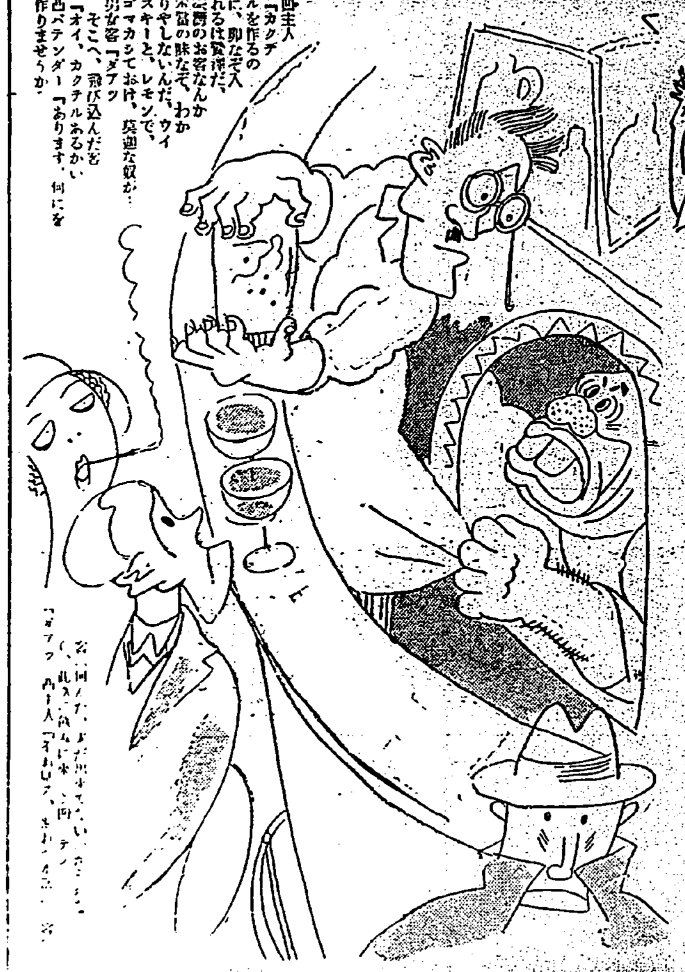
臺日漫畫

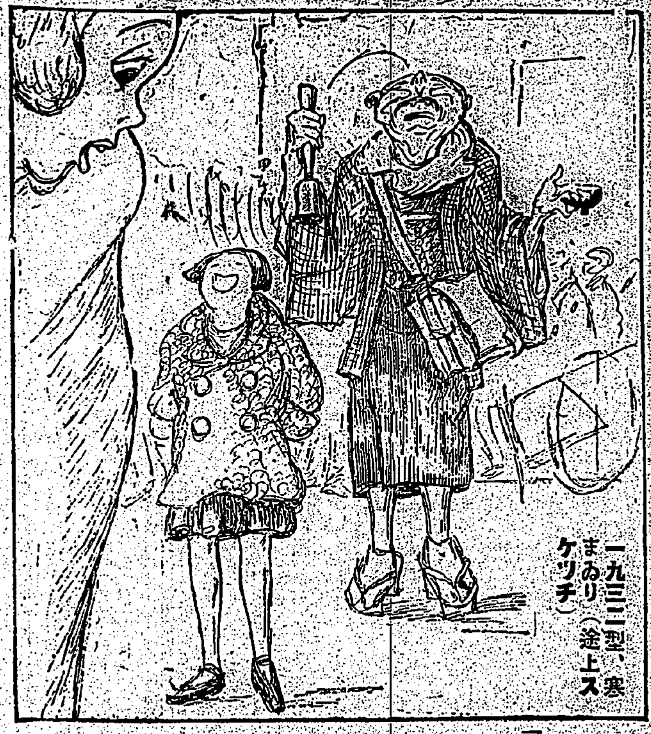
第二十卷（四百九十六號）

本島最初の計畫：圖書館週間の宣傳ポスターにこんなのは如何でせう

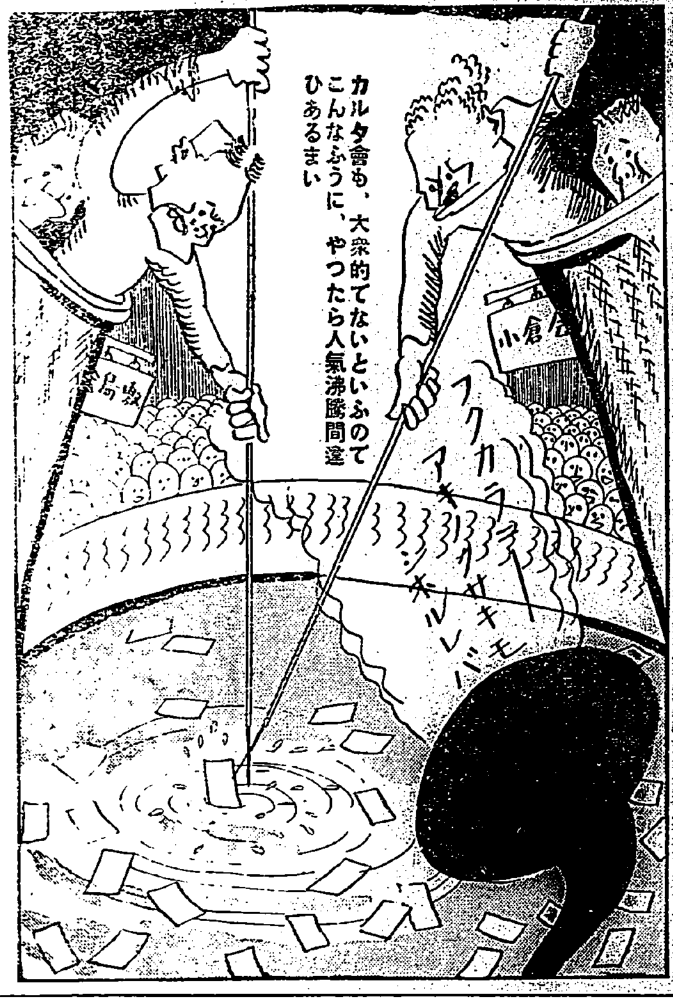

圖書館
文化の道しるべ
もみぢ

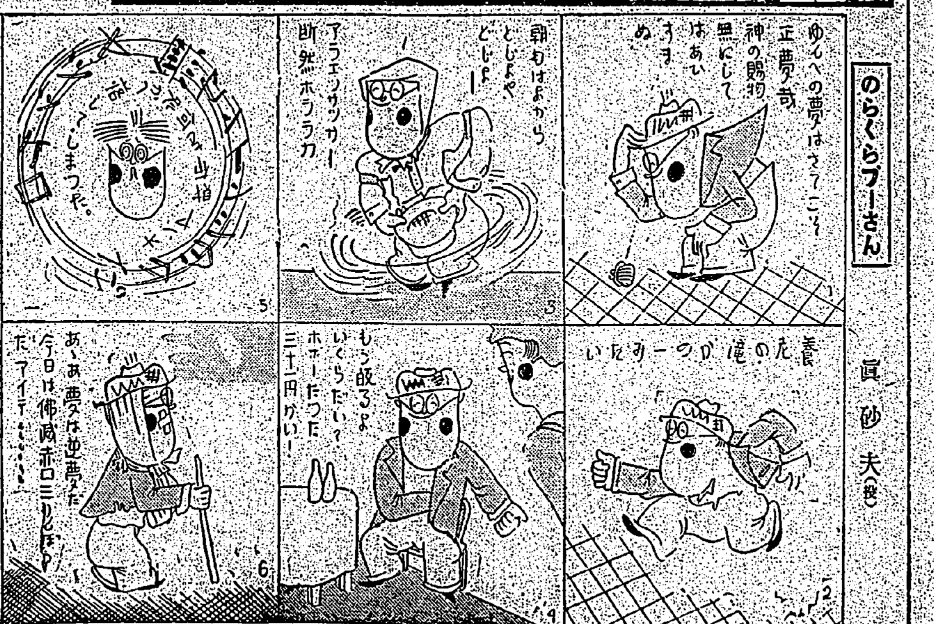

木島モボ「コノ、ベツピンノモダンガダデ、アリマス」
內山モボ「ウフヘー今後女天下…」


酒主人「カクテルを作るのに、卵なぞ入れるは贅澤だ、今時のお客なんか本當の味なぞ、わかりやしないんだ、ウイスキーと、レモンで、ゴマカシておけ、横着な奴か…」
男女客「ダブッ」
そこへ、飛び込んだ客「オイ、カクテルあるかい」
バテンダー「あります、何にを作りませうか」



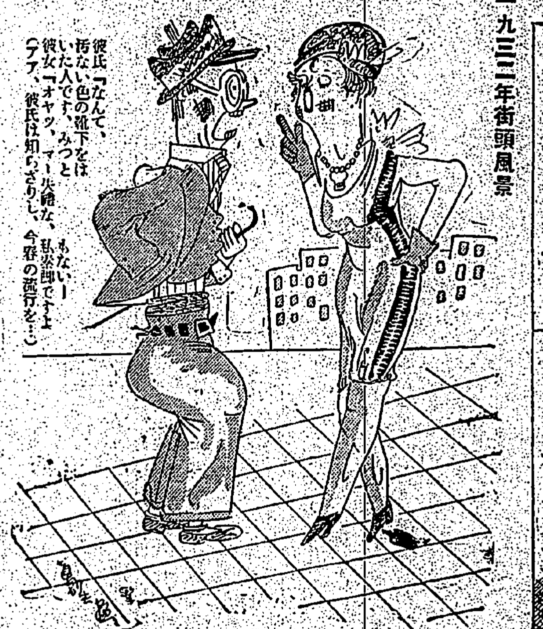
一九三二型、寒まゐり（途上スケッチ）


カルタ會も、大衆的でないといふので こんなふうに、やつたら人氣沸騰間違ひあるまい
小倉



のらくらブーさん　眞砂夫（投）

ゆんべの夢はさてこそ正夢哉 神の賜物無にしてはあいすまぬ
養老の滝か一つみたい
朝もはよから どじよや、どじよー
もう敗るよ いくらだい？ ホホー たつた三十一円かい！
アラエッサッサー 斷然ホラララ
寝てしまつた。
あーあ夢は逆夢だ今日は佛滅ホロニガリぼや アイテ……



一九三二年街頭風景

彼氏「なんて、汚ない色の靴下をはいた人です、みつともない」
彼女「オヤツ、マー失禮な、私素足ですよ」
（アア、彼氏は知らざりし、今容の流行を…）

閑院參謀總長宮殿下
感謝滿鐵獻身的活動

十六日東京電。內田滿鐵總裁。今朝十時半。於參謀本部。拜謁閑院總長宮殿下。拜謁就滿洲事變。及滿鐵關係其他。詳細報告。總長宮殿下。感謝滿鐵自事件以來。獻身的與軍部協力。更謂今後滿鐵活動範圍。須更擴大。滿鐵希與軍部一體邁進。又對于滿鐵犧牲者。表哀悼之意。內田總裁恐懼。正午辭去。

出糖激增
鐵道增收

本島鐵道。客臘中總收入百七十八萬九千二圓。較前年同期。實增收二十二萬九千八百二十九圓。就中客車收入五十八萬三千三十圓。比前年減收四萬五千七百九圓。貨車收入百二十萬九千九百七十二圓。增收二十七萬五千五百三十九圓。又至十二月累計。凡千二百九十六萬千七百二十一圓。比前年減收六十三萬千六百四十三圓。然自入新年。因糖米出貨激增。一個月增收二十二三萬圓。故至三月迄今所減收者。便可補塡結局本年收入。按與前年同一程度云。

臺南州道路
植熱帶樹
活者七成五分

臺南州。爲御大典紀念事業。五管內縱貫及指定各道路全部。自昭和三年以降。實施中之栽植熱帶樹至三月末。行一部補植。本年度栽止。開該栽植道路。延長百五十餘里。栽植樹數。約十七萬株。現在尚活者。有七成五分強。又來年度之補栽。當山道路竝木助成費中支出。以期于完成云。

高雄海岸路
二月開通

高雄壽山公園道路。每年開鑿延長。最近之進行工程自市內哨船町。貫通海岸至西子灣海岸道路。路濶四間。延長四百間。按于二月中完成。又于七年度自西子灣至桃子園道路之一部。卽達山嶺部落之延長。擬開鑿約千二百間。其中二百間左右。按于本年着手。

桃園市場興工

桃園街於經濟困乏之聲中之昨年豫算二萬五千金。欲新建築市場。後受街衆反對漸停。至近日果排萬難而興工建築。現正填地築基。大與工事云。

淡水樂生院
定礎式
日期變更

臺北州淡水郡八里庄[illegible]癩療院樂生院。初擬于一月末。舉行定礎式。爲因太田總督便宜上。改爲來十九日午後二時半舉行。是日太田總督。及督府竝北州首腦部。其他全島關係者出席。近已發招柬。然因期日切迫。希望未接柬關係者。多數出席云。

水戶訓導
追悼會
在臺中公會堂

前在福州。被暴徒慘殺之元臺中第一小學校訓導水戶參雄同夫人光子。由福島縣人二瓶源五。田中。立石。前原。松尾諸氏發起。訂來十九日午後四時在臺中公會堂。開追悼會。是日希望同訓導在職中一小之生徒及其他有緣故者多數參會。又是日司會者爲救世軍大尉管野東治氏云。

鹽街外五庄
組合協議會
來十九日上午

臺南州新營郡鹽水街。外五庄組合協議會。定來十九日上午十時起。開於新營庄役場樓上。將議新營農業補習學校經費。卽昭和七年度歲入歲出豫算編成所關。及其他必要事項。是日同郡下各街庄長。爲代表組合員出席。現由同組合管理者新庄長沈崑山氏發來招集之云。

夫婦不睦
奪取金品
覆審離婚請求

嘉義市東門町人賴賢德之長女瓊英。年二十二。昨年嫁與虎尾郵便局雇員王德麟。年二十七。夫婦不睦。王乃與其母王張氏唆妹王氏綢。弟王炎。鄭共謀奪取瓊英現金二百四十六圓。及純金手環四個外三點。價格三百圓。且加以虐待。昨冬瓊英託長野辯護士爲代理人。向臺南地方法院嘉義支部。提出離婚請求訴訟。結論之條。離婚後王須返還金品。王不服。向臺北高等法院覆審部抗訴。定來二十八日辯論公判云。

二十億弗金融會社
創設案通過美下院

十九日華府電。二十億弗金融會社創設案。通過美上院。同十[illegible]下院亦通過。但上下兩院決議[illegible]之有[illegible]。結局將附兩院協議會也。

臺南園藝會
第五回大會

臺南市園藝會。以開山神社祭典當日來月十四五兩日爲期。決在臺南公會堂開第五回大會。陳列會員其他秘藏之花卉類。使一般觀覽。現正準備云。

鳳山大廟傍
築屋問題決解

高雄州鳳山郡鳳山街大廟街衆嘗覺廟內粧置不雅。故各捐多金。自去年春初著手補修後殿。並築前殿惜尙未粉擦。聞廟產存多。而首腦者反置之不理。致廟側近被街周攻朝、蘇玉芳、新築家屋。街民議論紛々。後依街有志陳岸溪、林朝木、顏椿三氏。力向周蘇交涉結果。著令改築他處。後三君出金五十圓。貼與周蘇土水代。始得圓滿解決云。

翰墨因緣

▲彰化卦山吟社。第五期徵詩公募課題如下。一、詩題。「懸劍」二、詩體。七律不拘韻。三、期限。二月二十日。四、交卷處彰化街北門吳士茂收。五、贈品。十名內均有薄贈。六、詞宗。未定。

▲善化淡如吟社。第四期徵詩。愁城。共得三百十七首。謄錄後。託陳如氏。評定甲乙。茲將前茅三十名內。發表如左。十名內贈品。由林玉蛮氏準備中。又社員大成氏。徵中秋月絕詩。現由趙雲石氏評選中。不日定能發表。

一臺北蔡石奇。二頭圍吳春麟。三九曲堂蔡爾昌。四關西南溪。五楊梅[illegible]子芳。六鹽水林金崑。七新竹汾陽賦鶴。八花蓮港紹尹。九楊梅楊龍亭。十二水陳秋霞。十一彰化楊朔。十二善化蘇慎獨。十三布袋蔡元亨。十四鹿草翁孟之。十五麻豆郭溶川。十六關西景澄。十七中壢古滿雲。十八臺北吳醫逸。十九臺南吳謝庵。二十竹山張達修。二十一臺南謝紹楷。二十三水陳古鐵。二十四中壢湯錦祿。二五東港劉炳坤。二十六文山文淵生。二十七臺南謝紹楷。二十八臺南柯尚德。二十九斗南陳守坤。三〇紅毛港歐炯若。

羅東

致化磋商

既報羅東郡役所。爲普及州訓令發布之郡街庄教化聯合會。及郡男女聯合青年團。去十四日午後一時。在同郡役所。開磋商會。是日同郡下街庄長、助役、小公學校長及男女青年會長。凡三十餘名出席。定刻山義沼郡守敍禮。次那須州教育課長。說明訓令主旨。横尾州社會教育係長。說明就實施具體法。各熱心質疑應答討論後。而羅東郡教化聯合會。及郡聯合青年團發團式。各議定三月十日。卽陸軍記念日。在羅東神社前。嚴肅舉行云。

農倉近狀

羅東農業倉庫。因舊曆年關告迫。一般農家。見最近米價絕頂期。倉庫之寄託粟。多數領出發賣。街內景況。漸次好轉。又客月中該倉庫保管料。收入三千餘圓云。

新竹

圓糯配期

州農會竹郡支會。爲配付圓糯之原種穀。並指導播種期。特派係員。出於郡下。日期舊港庄十一十二兩日。紅毛庄十三日。湖口庄十四十五兩日。新埔庄十六十八兩日。關西庄十九二十兩日。六家庄二十一及二十二兩日。香山庄二十三及二十四兩日。

警官考試

新竹州警務部。十五、十六兩日每日自上午八時。在州廳與衛講習室。執行甲科及特科兩種考試。考生之募集雖試。試驗官。委託桔非警務課長。並稻田警務係長。

澎湖

巡查採用

澎湖廳下乙巡。缺員三名。已於去月前試驗完竣。計報名者有三十六。實場應試祇有三十。而及第筆記者則僅十七名。再就口頭身格及第者。則馬公管內黃慶其、蔡魯芹、湖西庄韓南寮鄉陳玉順。計三氏而已。去九日採用。

野球戰捷

澎湖木鵬。新年歡式野球大會。參加團計一二十三團。野戰場所。在馬公小學校々庭。及城外球場。松島記念館前公園等。計三處湖西國主將。田中校長以下。選手十三名出場。三日對海祭團。三日對商船組。五日對公學校園。一同將及選手等。各既[illegible]。數日來連戰連勝。一同元氣壯旺。高唱凱歌歸湖。

物價一斑

本島自金輸出以來。物價愈趨愈下。如穀類及豆餅麵粉等。尤爲一落千丈。無產者力慶幸無已。不圖犬養內閣成立。金輸出再禁止。景氣稍佳。一般物價。亦隨之趨高。米百五十重。升至十圓乎。青黃等豆。及麵粉豆餅。亦約漲三四成。花生油每擔由十圓餘。升至十五圓五十錢。豆仁亦還升毛每石七八圓左右。番薯價亦高因且少存者。現甚早臺島輸入。尤爲手盼。福杉及石灰。亦自由騰價。惟世在可輸出之。則價格依然。無稍變動。飼畜家爲呼負不少云。

是非々

介自昨年來。不知患何病。夜寢不容易就眠。服藥無效。敢希一般高明。指示方藥。（一岡青）

新竹某藥業組合。副組合長某甲。主張降價售出。以廣招徠。其後以不達目的。憤慨脫退。實行降價配售。此種舉動。頗有利於貧病者。敢問攻擊某甲者。有何堂堂正理由。（如是我觀）

石沖鄭君。逝日限地開業醫。近對貧民。不取藥資。其業也。（勝求甘露開藥）

吾人對自治聯之運動自治。表其敬意。一面先要求州府採用本島人有資格者。爲檢察官。爲警視。爲警長。爲州之地方。教育。警察諸課長。乃至爲警部如何。（一質際家）

會事

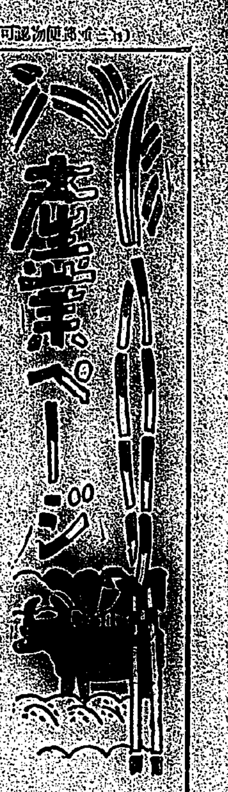
▲新竹州立圖書館。乘圖書館週間中。去十三日下午六時半起。在同館室開童話會。藤川館長開會辭後。柿沼。伊集院兩氏話家。先後講演。至九時半散會。

▲大甲信組合第十七回通常總會。定來二十一日午前九時。假鳳舞臺開會。聞本年度九分配當。

人事

▲大湖郡獅潭庄長黃丁興氏。此次退職。繼其後者爲前中壢郡郡庶務課長。宮內幸之進氏。

▲大甲街豪族王元吉氏。此回爲其次郎策芳君週歲內祝。去十三日午後六時。在宅上大開內祝喜宴。束請各界名士二百餘名。盡歡至八時餘散會。



將來益々有望な本島の鰹漁業

南洋の新天地に飛躍して

本島水產業に劃期的發展を招來

當業者は新に鰹船建造中

本島の鰹漁業がスタートを切つたのは明治四十三年で、本島にかける幾多の海上產業が既に相當の旅程を築いた頃であつたが爾來二十二年間に亙り當局の指導奬勵宜しきを得、民間當業者の

努力に より今日では押しも押されもせぬ重要產業の一つとなり其產額に於て鰹漁業としては日本では四、五位を占めてゐる、斯くの如き大發展を來したのも全く地理的關係において大に惠まれてゐる結果で當業者の努力次第では或は内地の斯業を支配するに至る時代が到來するかも知れないといふ素晴らしい前途を有してゐることは啻に水產業のために誠に祝福すべきことである、それも從來のやうに近海をのみ漁つてゐるのでなく二三年前から遠く

南洋の 漁場に進出してゐることで從來は十月に鰹漁が終ると翌年四五月までは休業してゐたものだが昨年の漁期終了後から本年にかけては例年のやうに切上げずに本島から六百浬の地點にある比律賓南方のスルーシーに出漁してゐる、現在從漁中のものは全部基隆の鰹漁業者で鈴木三艘、西村一艘、古井二艘丸三一艘であるがこの内鈴木の漁船中一艘は氷運搬船でいづれも百噸以上の大型船である、ところで漁獲高は如何といふに先づ一航海往復三週間に鈴木が

五千貫 から八千貫、西村が三千貫、古井が四千貫といふ行程であるが一般に南洋の鰹は魚體が大きく一尾が一貫目から一貫二、三百目で而も脂が少なく鰹節としては上乘のもので殆ど本節ばかり、而も近には政友會内閣になつてから諸物價があがり鰹節も本節が二割位高騰して平均先づ九十五圓位となり鰹節もこれに追隨して四五十圓となつた經費としては一航海千五百圓もあればよく三千圓の漁獲としても先づ三千圓にはなるので

經費を 差引き千五百圓儲かるといふ狀況である、鰹漁業に必要なものは餌料で此の頃鰹漁期でないからこれを如何にして求むるかは一般の者が知らんと欲するところだがこれも當業者は新發見をなしてゐる即ち九月頃から蓄養をなしてゐたではじめ籠に漬けてゐたが餌は面白くないので網に漬けこれにフイッシュミル（魚粉）や米糠を時々供給してゐるが完全に成功して殆ど死なぬそれで南洋出漁の餌料としては

一航海 四艘分、夏の四分の一位を持つて行く、然し餌料がない時に南洋の餌料を持つて行つたのではアトかどうすることも出來ぬので此方においても新方法を考案し引縄とし船尾から十二本の引縄を垂れ殺速力で餌を投りながら航海するのである、何しろ全くの處女漁場であるので鰹も馬鹿で鳥の羽根のついた擬餌釣を餌かと思つて喰ふのである、この漁法が果して何時まで續くかは不明であるが先づ茲しばらくの間は

大丈夫 だらうと云ふ見込みである、ソレで基隆の西村多郎助氏はこの南洋の鰹漁業を目標として目下彦島造船所で百二十噸、二百五十馬力の鰹船を建造中でこの船には無線電信や冷藏設備を設け至れり盡せりの完備をなす筈で總工費は三萬圓を要するといふ、この南洋出漁の鰹漁業で從來の給料制であつたものが歩合制となり即ち利益金の半分を船主がとり殘りの半分を乘組員が分配するといふ仕組みでこの方法は乘組員の好成績を收めてゐるから、今年の夏の漁業にも或はこの

方法が 適用されることとなるかも知れない、更に内本島の鰹漁業者が從來の傳統的方策を破つて南洋の新天地に本島を根據として活躍したことは大に注目すべきで本島水產業に劃期的發展を招來するものではあるまいかと觀測されてゐる（寫眞は出漁中の鰹船）

金輸出再禁止と我財界

前大藏大臣　井上準之助氏談

金禁輸不必要と信じた理由

吾々が金の輸出禁止を絕對に必要なしと認めた理由を述べておきたいがそれに先立つて再禁止當面の動機となつた金の流出、弗買思惑の實情を説明する、九月二十一日英國の金本位停止の報が傳はるや、英國と密接なる經濟關係を有する

我國も 當然近い内に再禁止のやむなきに至るだらうとの豫想が財界に反射的に起つて來て、此の際弗も安全な物を買つて置けば儲かるといふので猛烈な思惑の弗買が擡頭して來た、附加的の理由としては折柄不安を傳へられて居た英國の經濟力を懸念してゐた一部の銀行其他が、少からぬ資金を海外で留保に固定したので、之が爲め豫想の意味と其の損失を取返さうといふことがあつて、弗買ひは非常な巨額に上つた、其處へ時を同じうして滿洲事變が勃發し、事態が次第に惡化して來たので吾國の前途不安説も起しから、外國銀行筋の思惑も加つて、十月十五日迄に正金銀行が賣り應じた

弗爲替 は三億數千萬圓に達したのである、その頃から漸次正金銀行の爲替賣を制限して、先づ先物を賣らぬやうにし、又次年内物に及ぼして厳重なる賣惜の外賣らない、外國銀行には一切賣らないといふことに制限して行つた、さうして他方當該思惑者に對しては、決濟の圓資金融通の道を段々ふさいで決濟を困難ならしめ、餘儀なく解け合ひして來るやうに仕向けて來た、前後二回に亙る日本銀行の利上げから市中金利を引上げて行つたこと、十二月に入つては最早解け合ひの外繰延べにも應じなかつたこと、其の外あらゆる急所々々を抑へて圓資金の調達を妨害した、昔から之等思惑者のカラクリの本場になつてゐる大阪を抑へた時の如きは誠に面白い鬪ひであつた、十月三日から決濟資金として正金銀行をして

現送を 開始させる一方、かうして思惑者を苦しめて行つたので、十一月からボツ／＼繰延べや解け合ひが出來て來、十二月に入ると思惑者はすつかり恐慌をあげて毎日々々五十萬、百萬多い日は五、六百萬圓の解け合ひが出來て十日を越せば解け合ひがぐんと激增することは確實だといふ狀態にまで運んでゐた、之で二十日迄行けば解け合ひは相當巨額に上つたらう、さうして思惑者は完全に當て損ねて、ペシヤンコに參る、勝負はこつちの勝ちだつたのだ、即ち私利私慾の爲には國家の興亡、國民の福利を眼中におかない輩が徹底的に叩きつけられるばかりの所だつたのだ、不幸にして政機内閣が瓦解して再禁止がされ彼等一部の思惑者に、マンマと巨利を得られたのは遺憾に堪へぬ

想像を以ての批評は當らぬ

あとで解合ひさせるに苦勞する位だつたら、最初から正金に無制限に弗を賣らせなかつたらよかつたらといふ人もあらう、併し英國の金本位停止で人心不安の際に滿洲事變が勃發してゐる際に正金銀行が假に爲替の賣止をやつたら一層不安を助長したであらうといふことを考へたのである、あの時、外國銀行がドシ／＼金を持ち出す

その額 が何千萬何億と踏んだらその與へる惡影響は決して大きくなかつたらうか、併し今にして考へて見れば果してどつちがよかつたか判斷はつかぬ、寧ろかうなる位なら外銀に現送さした方がよかつたかも知れぬ、かうして正貨は二ケ月餘の間に三億を減じて五億圓餘となつてゐた、併し自分の見る所では此のまま持つて行けば今後の解け合のため最早現送を必要とせぬ、さうして思惑者が屈服すれば、當分はかかる思惑は起らぬであらう、然りとすれば十月から送つた三億餘の中殆ど限定の補充にまはる一億圓を除いた殘りは純然たる思惑であるから

目下の 如き貿易狀態からすれば、この上半期中は全然金を送らなくて濟む、うまく行けば爲替が昂つて、金が歸つて來はしまいかとさへ思はれる位であつた之を前の成績から見ると昭和五年中の金の純流出二億五千萬圓の中大體一億六、七千萬圓が海外投資でも、八千萬圓が國際貸借決濟尻に充てられた、も少し經過を見ればわからないが兎に角この二億圓の思惑の金は大體歸るだらうと思ふ、貿易の狀態は非常にいいし、外國支拂の對外投資が增加してゐる、今後の思惑は恐らくはない、事業界を見ても生產費は著しく低下し、事業の整理も捗どり、金融界にも殆ど整ふべき大した故障もない、財界は困難ながら英、獨、米等に比して餘程日本は樂な狀態にあつて、日本の金本位制の基礎は確固たるものであつた。明年度の豫算では大分歳入缺陷が大きく公債や赤字

公債の 發行なき破目につた、けれどまだ／＼世界の各國に比べてはいい方だ、自分の考へでは我國の正貨は此の調子で持つてゐた、外國人も最近の正貨の減少から日本の金本位そのものに疑念を抱くものはなかつたのである。今更還らぬことではあるが、せめて四月まで自分の手で持つてゆけたら餘程經濟界の狀態は今後の見透しもついたらう。同じ再禁止するにしても今のやうな慘澹たる結果―思惑者には儲けられる、國家の財政は益々窮屈になつて財政の基礎が立たぬ、整理は出來ぬ等々―を見ずに濟んだらうと思ふ。それに英國の例がも少しハツキリした見本を示してくれることが出來たに違ひない

再禁止後の我が財界の推移

再禁止後の我が財界がどうなるか勿論豫測は出來ないが、大體英國と似通つた經過を辿つてゆくのではあるまいか。禁止と共に爲替相場は四十弗見當に落ち込んでゐるが直ちに三十弗臺に暴落するだらうとの豫想も行はれてゐたが、當分はこの程度で一高一低して保合ひの狀態を續けるであらう。といふのは米國にある

思惑の 二億圓餘りの弗が爲替が下ると共に一應利喰ひの目的で賣りに出される、其の度に下げ足が止められて反撥する、而して上半期分の輸入資金、政府の外債利拂等は一切手當が濟んでゐるのだから、此の二億の金は當分爲替投機者の思惑の爲となつて、爲替相場が三十弗臺へ暴落することを防ぐであらうが、併し投機者の跳梁のため相場は間斷なく動搖する。さうして半年か一年後因襲經濟が漸次惡化し、政府の海外拂が嵩み、二億圓の金が漸減するにつれて爲替相場は次第に低落するであらう

物價と爲替の關係如何

物價は爲替の下落すると同じ割合では昂るまい。爲替の影響はさう直接に全般的に來るものではなく且購買力がこれに伴はないからだ先づ輸入品が騰貴し之を原料とする生產品に及び、國產品に波及する。唯人氣的には何等爲替に關係なく、例へば米の如きものでも昂る。茲に所謂景氣といふものが出て來る筈だ。所謂其他の事業に就いて見ると、手持品が昂るに從つて資產内容がよくなるといふ譯だが、何しろ

購買力 が增したのではないから配當が增せる所まで行くかどうか。株式は之等の事情を反映し、ホツとした先行人氣からうんと昂る、とも角事業界は一時之の形で一息つくであらう。貿易は爲替が下るからとて、急に惡くなることはなからうが、唯輸入は爲替の解け合がかうなつたら全く關係出來ないから、正金銀行は正月早々爲替許可の正貨現送をやらねばならぬ事になるかも知れぬ。其の影響はまた國々の波紋を描くであらう

再禁止後の財界は好轉せず

さて目先一時の影響は以上の如くであるとしても、再禁止によつて我財界は結局よくなるかといへば自分の見る所では全然反對だ。再禁止論者の理論では爲替が下れば、生產費が相對的に下る。輸出が促進する。物價が騰貴するさうして產業が振興して好景氣になり失業者も減る、とかいふのが政友會の見方のやうであるが、物價の騰貴と爲替の下落とは決して相伴ふものではない。輸出が促進されるといふのも一時的のことで、爲替の低落で利益する海外相手の事業にとつては、内地の物價と共に變動する上に爲替相場の變動を豫定に入れねばならぬ。殊に印度、南洋方面、近東方面は綿絲布だから爲替の變動と内外爲替の變動、こちらの物價の動きと向ふの物價の動きといふ四つの要素を始終睨み合せて居らねば商談が出來ぬ。さうなるとても見込みが立つものでない。事業界はこの四要素の不斷の目まぐるしい變動のため半年ならずして困らう。輸入商も輸出商もてんで手を出せぬ。從つて對外貿易は益々萎縮する。ことに再禁止によつて得られた生產費の低下も徒らに勞働者を困しめるのみで效果を失ふことになるのではあるまいか

思惑の

二億の金がなくなると結局金を持ち出す外なくなる。第一正月早々正金銀行が相當の金を現送することになれば正貨準備は可なり減る。夫に貿易の入超や外債利拂等で在外の資金が枯渇して來ると行く先は先づ爲替の管理であらう。併し之も英國や獨逸の前例に徴すれば、其の效果は大して期待することは出來ない

歳出は增して公債發行

財政にした所が爲替の低落で外債の利拂や政府の海外拂はすぐ三千萬やそこらは歳出が增す、夫に增稅は反對だといふのだから公債を發行する外途はない。吾々が苦心して行財政の整理を行ひ、民間の消費を節約し、歳入の減少に及ばず、止むなく減俸や關稅引上で一部を補はんとしたのである。而も尚且つ六千五百萬圓の赤字公債を出す止むなきに至つたことを想ひ起さねばならぬ。然るに政友會はあれ程苦心して成立の御膳立をした折角の減俸を存置するも、減稅を主張して反對大いに金を使つて產業振興をはかるといふ方針のやうだが、それでは益々財政を危ふくすることは明らかである。物價騰貴で歳入も幾分は殖えるやうが歳出も增すから同じことである。公債ばかりを無暗に殖やして行つては公債市價が暴落して、財界に大打擊を與へるのみならず、對外信用も頓に低下して爲替が更に暴落する、其の恐るべき結果を來さぬとは保證出來ぬ。佛國では遂に國内で公債の發行すら出來なくなつた例すらあるのである

英國の經驗を繰り返さん

斯くなつた以上我財界を建直して近い將來に再び解禁することは誰しも望む所であらう。併し此の望みは先づ實現の可能性のことであり、新平價と雖も金の解禁をやるといふ望みは先づ當分は出來ぬ相談であらう。英國が現に通貨膨脹を抑へ爲替の安定を計り通貨の價値の低下によつて國際的に吾人が苦杯を嘗めつつある道は我國にとつては最も貴重な前例として研究すべき問題であり、又我國の前途を或程度に於て暗示してゐるものと見てもよからう

茶園の集約化

階段茶園の好成績

當業者は近來自發的に實施

臺北州下約二萬甲の山地傾斜茶園は多年表土流失防止に對し相當考慮を拂はれ各種の方策を講じて來たが其の中一方法として大正十一年度以來六ケ年間補助金を交付して

臺北州 は昭和二年までに百五十甲を奬勵し其後街庄をして專らこれが衝に當らしめ現在街庄奬勵によるもの百二十三甲に達し其效果頗る良好で農民は階段の必要を感じ自身自發的に設置するもの增加し現在農民自身の發動によるもの百十七甲に達してゐる。而して本年度街庄奬勵計畫に農民が自發的に設置する階段茶園見込數は百七十六甲で本年末は五百六十一甲に達する見込みである、要するに階段茶園は最初に

多額の 費用を要するが一旦これを築へると表土の流失は絕對的に防止し得るばかりでなく地價が倍加するから近來階段茶園を自發的に築造することが盛んになつて來たものである、斯くの如く漸進的に茶園が集約化されつつあることは本島茶業のため慶賀に堪へないことである

農場より工場へ陣容を立直す

―臺灣鳳梨栽培會社―

高雄州鳳山郡大寮庄の臺灣鳳梨栽培會社は大正十四年七月南部拓殖會社を買收後耕地整理の上同年及翌十五年の二年間にハワイよりスムースカイエンと少許のサラワーク苗五十萬本を輸入植付て繁殖を謀り三百甲歩、内百八十甲が既耕現在百二十甲歩・所謂見込果實千六百萬個（約百五十萬函）は從來原料として内外食品へ賣出して見たが生果の輸送で果實の有つ價分を二割は減少する、依つて本年より新たに西勢路前に工場を設置し自ら加工する事となつたのであるが同社は創立以來無配當を續けて多くの缺損を補つて農地開拓に努めて來たので新事業に要する約二十萬圓内外の資金には頗る困り總督府へ產業獎勵金の補助を願ひ出て居る、新工場は新式二室、在來型一室の二機械を据付け五月中には操業する豫定である

臺南州の病蟲害驅除實施

大圳通水の實績から

臺南州の病蟲害驅除豫防に關し六年度までは甘蔗害蟲驅除其の他各種農作物病蟲害の合理的驅除方法の普及を圖る爲め之が指導を行つて來たが嘉南大圳通水後は區域内の農業經營狀態に變化を來し同事業にあつても施設上の緩急を異にするものがあるに至つた、而してその最も緊急を要するものとさるる水稻螟蟲驅除に其の重點を置き其他に及ぼす豫定であるが尚螟蟲驅除の植付は嘉南大圳の通水と相俟つて奬勵に努めた結果年々著しく作付を增加するに至つた、されど同蟲は從來經驗の被害多大なものであるが爲め七年度に於て中間作及び第二期作の延面積約二萬甲に對し所轄市街庄と協力の上奬勵金を交付して極力採卵を奬勵し被害輕減に努むる事となり中間作及第二期作蒔栽培者に對し苗代期間、插秧後三週間以内及び刈取前の各期に亙り螟卵塊の採集を爲さしむる事となつてその奬勵金四千八百圓を計上する豫定となつて居る

鐵道省用の石炭購入量

昭和七年度は三百八十萬噸

【大阪十七日發本社特電】昭和七年度鐵道省用石炭購入額は約三百五十萬噸、その他局所使用と合せて契約三百八十萬噸の豫定である、石炭會議も終了したので直ちに契約準備に移つたが購入期は三月上旬で契約價格は當業者は値上を希望してゐるが前年度と同額もしくはそれ以下とする方針である

本紙を教材に

臺北州農業傳習所で

本紙で紹介した臺北州の農業傳習所では去る十五日三十三名の新入所生を迎へ十六日から早速授業を開始した、入所生は全部本島人ばかりで公學校卒業者であるので國語は判るが六ケしい文字などは殆ど判らず、たとへば「耕地」と口頭でいつて書かせて見ると「高地」とか或は「甲地」と書くなどお話にならぬ狀態で學科の教授には餘程骨が折れるらしい、ソレで臺北州當局では内地や臺灣の農業に關係した教科書を集めて研究してゐるがどうも理想的のものが見當らず苦心してゐるが本紙の產業ページにある農業關係の記事などは最もいい教材であるので同傳習所の主任者である若林技師は前回の產業ページの「農家の副業」其他を早速十六日から教材に利用したと大喜びである

南支南洋との貨物連絡一層圓滑となる

オランダ郵船と商船の提携

【大阪十七日發本社特電】郵商提携の結果大阪商船は南洋アフリカ航路における獨占的地位を許容さるるに至り目下同社はこの方面への發展に全力を集注してゐるが最近石原產業が南洋發展を試み又從來親密關係にあつたケイ・ビイ・エム（蘭領東印度商船）にて七十餘の航路を經營し同方面に强固なる地盤を有するオランダ郵船がジヤワ、アフリカ航路を開設するに至つたのでケイ・ビイ・エムとの提携を一層完全ならしむる必要を感じ昨秋來兩者間に折衝が重ねられつつあつたが最近次の如き契約なり近く調印を行ふ事となつてゐる

一、ケイ・ビイ・エムはアフリカ向け貨物集貨の爲日本支那南洋植民地コロンボ等の商船寄港地に配船せざるは勿論之等寄港地にかける接續貨物をも取扱はない

一、その代償として大阪商船はケイ・ビイ・エムの本據たる南洋沿岸航路への進出を行はない

一、兩者間に貨物通し輸送契約を締結す

この通し輸送契約により日本、支那の南洋向け出貨は商船の手でケイ・ビイ・エムと連絡し又南洋諸島よりの日本支那向け出貨はケイ・ビイ・エムの手で商船と連絡する事に至り日本支那及び南洋との貨物連絡輸送はこの契約により一段と圓滑になるに至つた

大阪砂糖取引所

二十三日總會

【大阪十七日發本社特電】大阪砂糖取引所では來る二十三日會員總會を開き任期滿了の役員（理事長一名、理事四名、監事二名）の改選を行ひ第十三回（昭和六年十月以降十二月）事業成績を附議する筈（單位圓）

收入合計	一九五〇一
內譯	
會費	三六〇〇
賣買手數料	八〇二〇
利息雜收入	七八〇七
支出合計	一一六八〇
差引純益金	七八三〇
處分	
什器償却	三三〇〇
退職手當準備金	一〇〇〇
積立金	六五〇〇

而今期の成績は賣買高百十三萬六百袋、金額一千四百九十六萬圓でこれを前年同期と比較すると賣買高に於て二十三萬三千五百袋、金額に於て八百三萬圓を何れも減少してゐる

婦人毎日新聞愛讀者に

婦人毎日新聞社は本社の發展に際して、全島各地に亙り讀者の大擴張を行ふことになりましたに就ては臺灣日日新報愛讀者に限り婦人毎日新聞一ケ月の購讀料金六十錢を特に金五十錢に割引提供することと致します、申込所は臺灣日日新報本社に各地同社支局、取次販賣店等であります（婦人毎日新聞社）

一九三二年の婦人毎日新聞の新運動
一、實際生活の合理化

乳兒に　大印滋養糖

牛乳やコナミルクで育てる赤ちやんが、兎角育ちの惡いのは、お母さんのお乳と違ふためです又泡めたり、煮て消毒したりせねばならないので消化し難い物になるせいです この二つの重大な缺點を補ふものが大印滋養糖で、おちゝの中に入れて與へられゝば母乳の場合と同じようにメキ／＼發育なさいます。

說明書進呈
全國藥店にて販賣
大印に御注意

N―5　東京神田　和光堂　大阪販賣所

馬賊にパクダン
風邪に守妙
守妙

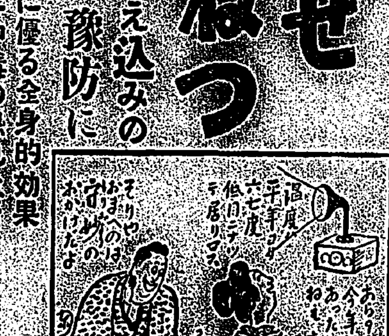
かぜ
ねつ
婦人冷え込みの治療こ豫防に
斷然洋藥に優る全身的効果
然も絕對に中毒の恐れなき
純和漢藥
守妙（モリミヨウ）

萬病の基たる感冒と冷込みには先づ守妙を、單純な解熱本位の丸藥散藥は時に中毒を起すことあり、守妙は貴重なる和漢藥數十種の合理的配合により如何なる體質の方にもヨク適合し絕對に中毒の恐れなく保溫、發汗、解熱、整腸等の効果を全身的に現します。

製丹本舗　守田治兵衛
東京市下谷區池之端仲町　振替東京三九八五番
支店　大阪市東區平野町二丁目　振替大阪五七七三九番

守妙をのむ必要の時
△ぞつと寒氣を感じた時
△急に發熱した時
△足腰の冷込を感じた時
△頭痛目暈逆上の時
△咽咳の出る時
△婦人冷込から起る諸病の時
△鼻風邪にて水洟の出る時
△何となく風邪心地する時

定價　一日分　三十錢　三日分　五十錢　七日分　一圓　十五日分　二圓　二十一日分　三圓　四十五日分　五圓
●全國各藥店にあり


溫度　平年より六七度低目ナリ　天氣居リマス
そりや おまへのは 守妙の おかげだよ
おや あんた今年はいつもよりずつと あつたかいのね おふたかい

手輕な守妙
頭痛がけろり
熱がぴりり

たんせき
ぜんそくの
苦惱と危險を除くシヤブリ藥
立効丸（リツコウガン）

▼効能
▽痰をよく切り▽運動家は息切れなく
▽咳をしづめ▽老人虚弱者の喉
▽喘息息切によく▽流行感冒の痰咳によく
▽音聲をよくし▽夜中咳出て眠られぬ時
其他一般のたんせきによし
特に常に音聲を使ふ人木兎を常用せらるれば聲が良くなり咽喉を潤し美音となる

定價　全二十錢　全三十錢　全五十錢　全一圓　全二圓　全五圓
●全國各藥店にあり

酷寒の恐怖！
たんせき、ぜんそく警戒季
恐るべき肺炎肋膜炎に變症せぬやうに今スグ立効丸を

いかな頑強な風邪も守妙にあつてはタッタ一ぷくでたちまちノックダウン!!!

福引係
引出しは
當福引の
立効丸
一包
セキ止める!!!

バイタライト・ランプで効果的なドルノ線浴

最近科學に依る健康増進法

日光中に含まるるドルノ線（三〇〇〇—二八〇〇オングストローム の紫外線）は我々人類の健康増進及び病氣、外傷の治療に異常の效果のある事は既に一般專門家の等しく認むる所である。現に獨逸に於ても晴天の日の日光浴が奬勵せられて居り又日光療養所は各國に設備せられてゐる。然るに

ドルノ線は非常に吸收され易い性質であるため、雨天曇天の日は勿論、晴天の日と雖も煤煙塵埃等のために殆ど吸收せられてしまふため我々に到達する所は極めて微弱である。其れ故日光療養所は空氣の澄んだ高山の上に設けられてゐる。上述の如くドルノ線缺乏のため不健康狀態となり種々の忌むべき病氣に犯され易いのである。空氣の澄んでゐる高山へ晴天の日を選んで日光浴に行く事は普通の人には不可能の事であるから、人工のドルノ線

發生器が必要になつてくる。其の目的に生れたものがバイタライト・ランプである。バイタライト・ランプは能率のいい特殊の電球とドルノ線をよく透過するテクピクトグラスによつてなり更に電球から出たドルノ線の全部を目的の方向に集める反射器が必要である。反射器もドルノ線の反射率のいいものでなくては用をなさず且つ其の形態も重要なる問題である。良好なる反射器を使用した場合と否とでは一米の距離にかて約三十倍の相異がある。バイタライト・ランプから出てゐるドルノ線の量は小型の石英水銀灯と大體匹敵する程度であり、且つ又其の他に爽快なる光と

赤外線を放出してゐる。此のランプから出てゐる赤外線は波長一一、〇〇〇オングストローム前後のものに富み皮膚及び筋肉をよく透過して深部迄作用が及ぶのである。ドルノ線の效果は今更喋々を要しない所であるが、新陳代謝促進、發育促進作用、セムシ病豫防作用、殺菌作用、血液の抵抗力増大作用等であり、赤外線は溫熱及び乾燥作用あり苦痛を輕減する。バイタライト・ランプを使用すれば健康増進上偉大なる效果のある事は申す迄もないが、結核病、腺病質、リウマチス、神經痛、神經衰弱、セムシ病、皮膚病、百日咳、外傷、凍傷等の治療に效果あり、又發毛其他

精力増進にも利用せられてゐる。之に要するに健康増進、病氣治療には、いい空氣、榮養價値の多い食物、いい藥の外に今一つ重大なるドルノ線浴が一大要素であるのである。バイタライト・ランプは夜でも晝でも雨の日でも曇の日でも屋內でもドルノ線浴が出來、且つ爽快な光と、ストーブ代用の熱を出すものである。大阪朝日小學校では之を約二十個使用し兒童を裸體にして之に浴さしめ大いなる效果を擧げてゐる。

（寫眞は兒童のドルノ線浴）

ベルリンで日本語の演説

◇…東郷 實

臺灣總督府の命に依り、筆者が獨逸に留學したのは、明治四十二年であり、その年の八月末にはもう伯林の人となつてゐた。

それから間もない後のことである。筆者は當時伯林滯留中の[illegible]氏の紹介で、テップァー氏と懇意になつた。彼はマグデブルグにステーム、プラオの大工場を經營してゐる立派な老紳士で、臺灣に初めて輸入された鹽水港製糖のステーム、プラオはこの工場の製品であつた。そんな關係からテップァー老は一見舊知の如き態度を以て、親切にして呉たが、たうとう彼れの七十の誕生日に招待を受くるの日が來た

◇　◇

祝宴は伯林第一のホテル、アドロンで催されたが、來賓は時の農林大臣を初め、各方面に亘り、內外の紳士淑女百數十名にも上つた

下宿のお婆さんが

「お前は今晩はきつと何か話をさせられるよ」

といひながら筆者を送り出した。

併しながら筆者は「そんな馬鹿なことがあるものか」と別に氣にもとめないで、ホテルへと馬車を走らした。

軈て食宴は開かれた。主人公の挨拶が濟むと、先づ第一に、彼れの經歴と功績とが世話係より讀み上げられたのを皮切に、次から次に祝賀のテーブル、スピーチが試みられた。さうして美しい詩の朗吟をなすもの、熱烈な激奬の言葉を述べるもの、思ひ〳〵の祝詞が食事のあひま〳〵に續けられて行つた

◇　◇

かうしたテーブル、スピーチが二、三囘續いたと思ふ頃、果してテップァー老は自ら足を運んで、筆者のそばにやつて來た。さうしていつた

「今晩のお客は知つての通り、歐米人ばかりで、はる〳〵東洋から來て呉れてゐるのは、お前一人だ。就ては何か祝詞を述べて呉れ、それもお前の國の言葉、日本語の祝詞が望ましい。今日の祝宴に、日本語の祝詞が述べられるといふことは、また得難い自分一生の大記念であり、大光榮である」……

「ねー、わしが音樂を止めさして來るから、今直ぐやつて呉れ」

彼はさういひながら、自ら指揮して音樂をやめさしてしまつた。

筆者はその瞬間に『成程オレはたつた一人の東洋人だ、日本人だ、日本の國威を發揚しなくてはならぬ』と考へて、ツト立ち上つた。併し最初から日本語でおしやべりしては、それこそチンプンカンに終つてしまふだらうと考へたから、先づ獨逸語を以て祝辭に自分が祖國の言葉を以て祝詞を述ぶる所以を説明した。すると、そこいらで『ゼヤー、リヒチツヒ！』とささやく聲が聞えた

◇　◇

無論、演説は極めて簡單であつたが、徹頭徹尾日本語を以てした。さうして最後に

「テップァー君及同夫人の健康を祝する爲め萬歳……」

——そこまで來ると、そちらでも「バンザイ！」こちらでも「バンザイ！」といふ、小さなささやきの聲が起つた。——そこで筆者は心の中でしめたと考へながら「…萬歳を三唱致し度いと思ひます。皆樣の御唱和を御願ひ致します」と結びながら杯を擧げると、總員一人殘らず起立して同じく杯を擧げた

「テップァー君並にテップァー夫人萬歳！」

「バンザイ！」

「萬歳！」「バンザイ！」

「萬歳！」「バンザーイ！」

斯くて筆者は完全に演説の目的を達し、萬歳を三唱せしめた。そこでテップァー老の喜びは非常なもので彼は筆者に固き握手を求めながら、心から感謝の意を表した

◇　◇

食宴がはねると、今度は來賓同士のダンスが始まり、その間喫煙室では、色々の談話が交換された。さうして一時は筆者を中心として盛んに話がはづみ筆者の持て方といふものは一通りではなかつた。

そこで筆者は『自分があの場合おしやべりしなかつたとしたならば、何だか顔の黄色い脊の低い貧弱な東洋人も來てゐるな位にしか思はれなかつたであらう。然るにあの日本語演説によつて總員起立以て「萬歳」を三唱せしめたことは、確かに彼等をして東郷實の存在を認識せしめ、從つて帝國の國威を發揚し得たのだ』さうしてこの持て方も確かにその結果に過ぎないのだなあと考へざるを得なかつた

◇　◇

曾て新渡戸先生は「言葉の通じない國に行つた場合には、日本語で話しかけるがよい。さうすると自分が、啞でないといふことだけは、確かに向ふに通ずる」と話されたことがある。併し筆者は「話し方をよく考へ、且つ熱誠をこめて話さへすれば、日本語で以て自分の意志を立派に外國人にも通ずることが不可能でない」といふことの尊い經驗を得て、非常にうれしく感じた

我が臺灣は、日本語、臺灣語、廣東語、それに種々の生蕃語が行はれてゐる土地柄だ。併し四百萬島民がお互ひに誠心を以て相接するならば、よし言葉はわからなくても、自から意思相通ずるものがあり得る筈だ。そこに吾人は植民政策上一種の大眞理を發見する

◇　◇

話が横道にそれたが、要するにホテル、アドロンの一夜は今でも忘れる事の出來ない愉快なさうして得意の一夜であつた。ところが演説の成功で得意になつてゐた筆者を、一とたまりもなくペチャンコにしてしまつた、くせ者が間もなく現はれて來た。それは實に恐るべき女性達であつた

即ち多くのレデー達が交る〳〵やつて來ては「一しよに踊つてくれ」と要求するには流石の筆者もすつかり閉口してしまつた。演説は「舌」で行くのだから日本語でやれるが併しダンスは音に合して「脚」で行くのだから、日本語でといふわけには行かぬ。……從つてダンスの心得なき筆者が、これ等の要求に對しぶあいそにも一々謝絶を與へたことはいふまでもない。……「踊れぬのは男の恥だ」といふ伯林、演説であげた男振りがダンスですつかりだいなしになつてしまつた。併し筆者はその後もこれが爲めにダンスを稽古しようといふ氣にはなれなかつた

斯くて夜の更けるのも知らぬ間に踊り狂つてゐる多くの來賓達を後に殘して、筆者がホテルを出で下宿へと馬車を驅かしたのは、もう夜中の二時過ぎであつた

初鶏と猿曳

白田亜浪

○

初鶏や今日となる雨原の月

○

初鶏が啼くよと暁をさむがりぬ

○

初鶏や澄みしらむ庭竹の空

○

舞ひ猿の人を見る目ぞいとけなき

○

春風や猿曳き猿をかい抱き

童話　鼠のいろはかるた

徳永壽美子

寒い北風がお庭の植木の間を通り拔けてお臺所の戸をバタ〳〵とたたきました、どぶ鼠の忠吉は寒さに身を縮めながら、どぶの中をチョロ〳〵と歩いて食べものを探してゐました、けれども今日はどうしたものかちつとも食べものが見つかりません、それでノソノソとお臺所の方へやつてきました

×　×

すると、幸ひにもそこに一片のお餅が落ちてゐました

「占めた！」とつぶやいて、素早くそれを拾つて、どぶの中へ入らうとしました、と、その時「こらつ」と嚴い聲でどなりつけられました、見ると大きな野良猫が、ひげをピンと突張つて威張つた樣子をして睨め付けてゐます

×　×

忠吉はぶる〳〵ふるえて一握りに縮まつてしまひました

野良猫は意地惡るさうに眼をぴかぴか光らせながら

「こないだから、方々の家で鼠やお魚が無くなつて困る〳〵と云つてるが、みんなお前が取つて行くんだな」

と云ひました

×　×

忠吉は驚いて一生懸命云ひ返しました

「いいえ、猫さん、僕はどぶ鼠ですからそんな上等のものを取りは致しません、ただ、今夜は家の新年宴會で、かるた會をするので御馳走がほしかつたものですから、始めてこのお家へ入つてこれを頂いたのです」

「いや、うそだ、僕のやうな正直な番人をだますとは失敬だぞ」

「ぢやあ、僕の家へ來て調べて下さい、栗つ栗の切れつぱしよりほか、何にもありはしませんから」

「よし行つてやる」

そこで野良猫は、どぶのそばのごみ箱の下の忠吉の家へと、威張つてついて行きました

ちようどその時、忠吉の家では大勢の鼠達が集つて盛んにいろはかるたをしてゐました

「い、いばる猫は犬に追はれる」

「はい、ありました」

「さ、さかなを取るのは、どろぼう猫」

「あつたよ」

「に、にくいの野良猫」

「はい〳〵」

「ね、ねこが來たら逃げろ」

見る〳〵野良猫はかん〳〵に怒り出して眞赤になつて

「ニャゴーン」

とをどり込みました

不意を喰つた鼠達は、まるで紙屑が風にでも吹き飛ばされたやうな素早さで、あつといふ間に一匹のこらず逃げ散つてしまひました

野良猫はぽかんとしてしまひました

そしてぼんやり立つて居るうちに、自分がいつでも方々の家から鰹節やお魚を盗んでそのたんびに犬に追はれたり、人に打たれたりしてゐる事を思ひ出したので、恥かしくなつてこそ〳〵何處かへ行つてしまひました（をはり）

臺日歌壇

安成二郎選

臺北　渡邊　榮一

暮れそめしチボン街道を牛の群れ鈴ならしつつかへりゆくなり

田淵　武吉

ひなげしのかすかなる芽に面よせてつぱらに見つつ雨にぬれたり

山本　秋子

月光のくだけまろびゆくせせらぎの流轉すかれてさやぎゐるかも

齋田　悟

盃りをへし岡谷にとりを入れて見つこの小春日の心足らへり

栗田　哲朗

しばらくは夜風の音に耳すまし思ひたへをり山の庭に

川見駒太郎

冬近き日ざしと思ふ氷庭の細枝の影は地に和かなり

森山　香跡

門の邊の芭蕉豐かに音たてて今か過ぐるしぐれの雨は

賀田　賢

雲の影動きゆくなべに山峽の二つ家居は見えて來にけり

田淵　武吉

をみなごは我一人なり默々と山路をわけて登りたりけり

火乃國　馨

陸稻の花粉こぼるる穗先に[illegible]を夕べうつしむ

遁れ來てこころ寂しゆるびけむか手枕にひとは眠りし

うつし世にさびしと云はず吾にかも倶に生くべきひとありにけり

[illegible]心嘆きさやもの云はぬ妻と二人の月は暮れにけり

目醒れば時計はとまりゐたりけりつとめの暇のまだ明り來ぬ

[illegible]夕さびしく門の邊の[illegible]遊びみてゐたりけり

[illegible]を追ひて海に來[illegible]出でする日の春弱りかな

むなしくて今日も過しぬ打水の庭にうすする夕の光

故鄕の秋の[illegible]す部屋にやんまとび來る

母あらぬ家のひそけさちちのみの部屋の聲に今朝はめざめつ

生きの身の生きの限りを働きて命終りし母におりける

月滿りに母の白髮をぬきてむかし[illegible]しきゆめに今朝もめざめつ

◁臺日なかだち▷

求職 二件 [illegible]

[illegible]

カフェー [illegible]

電話 即金高價買入 [illegible]

電話直接讓受 [illegible]

貸家 [illegible]

女給入用 臺北市本町 [illegible] スズラン

專賣特許

完全な麥酒酵母製劑

エビオス

胃腸疾患を……

肺結核を……

肋膜炎を……

發育促進を……

この一劑に托さるべし

榮養と治療に驚嘆すべき效果ある完全な麥酒酵母劑とは、廿數種の酵素と、ヴイタミン各種と、蛋白質、グリコーゲン、カルシウムと、燐、鐵等の要素が少しの變化もなく存在するものであつて、エビオスはその唯一のものである。

而して酵素及びヴイタミン或はグリコキニンは、腸管、細胞を活躍せしめ、根本的に胃腸の作用を高める、故に消化力、消化液の分泌、吸收力が著しく増加し、胃酸過多、慢性胃腸加答兒、消化不良等が治癒する。この結果食慾は旺盛となり食事が美味となる。胃腸の障害が回復し、食慾が増進するだけで、結核性疾患の治療は七分の成功であらう。エビオスには何又ヴイタミン各種、ホルモン、カルシウム等うつてつけの榮養要素が含有されてゐるから、治療と榮養の二重作用が理想的に行はれ、熱は階段的に降下し、盗汗は止まり衰弱は回復し、氣力が充溢する。

乳兒及小兒には是非エビオスを與へる必要がある、前記榮養要素は骨格、智能、體質を強く發育進せしめるに唯一の無二のものであるからである。

若しエビオスと同一と稱する酵母（ヘーフエ・イースト）劑を試みた經驗があれば、それは酵母劑のほんの一部の效果を知られただけであらう。眞の偉大な酵母劑の效果とはエビオスによつて始めて知ることが出來るものである。

粉末一〇〇瓦　三十三日量　一圓七十錢

錠劑一〇〇錠　一圓三十錢

全國藥店にあり

説明書進呈

發賣元　大阪市東區道修町　田邊五兵衛商店

EB 146

貴き犧牲となつた水戸訓導夫妻の遺骨

十七日朝基隆に到著

盛んな涙の迎送

【基隆電話】十七日午前九時半郵船大球丸[illegible]い風の吹く基隆へ[illegible]しく

賊徒の兇手に

斃れた水戸訓導夫妻の遺骨と今は悲しくも孤兒となつた睦子さんや遺族を乘せた郵船大球丸が思ひなしか淋しげに入港した[illegible]沖の本船にまづ[illegible]皆が訪れる、ブリツヂの右側に設けられた祭壇は左右に太田總督及び[illegible]木下[illegible]氏より贈られた花環を飾りその中央に白布に包まれた夫妻の遺骨が安置されてゐる「故水戸參雄」「故同光子」と記された遺骨に何れも打ちなだれて恐しき最期を遂げた故人の

英靈を慰める

のだ。とかくする中臺北より文教局の[illegible]平川[illegible]氏を初めとし前川氏の親戚、基隆よりは小島助役[illegible]兵隊長、石坂[illegible]作氏、各學校長、教育關係者、救世軍、海洋少年團等が續々と詰かけて默々と[illegible]を待つて福州まで出迎へた赤堀課長、水戸氏の令兄水戸晤郎氏、夫人の嚴父前川孫一氏及び母堂チヤウさんが遺骨を見護つて[illegible]所ランチに移乘、特に税關も通らず[illegible]棧橋に到著、[illegible]出迎の[illegible]關係者の中を[illegible]室に到り再び遺骨は祭壇に安置され、遺兒睦子さんは[illegible]下船したが、ランチの中ではセルロイドの玩具を弄ることに無心にニコ／＼と笑ひ乍ら[illegible]る人々に

涙を催さしめ

出迎の夫人達は何れもハンカチをあてて嗚咽してゐる程であつた、大球丸[illegible]に一々聞けば、睦子さんは船中時々はムヅかることがあつてもいつもニコ／＼としてゐたといふ、[illegible]上の一行は引も切らぬ[illegible]客に一々應へた後休憩し十二時二十五分發列車で再び多數の見送りをうけて臺北へ出發したが[illegible]途上の人は知るも知らぬも默々と[illegible]を捧げ全島民の[illegible]な同情の現はれを感じる

葬儀はけふ

幸町教會堂で

[illegible]葬儀は十八日午後四時臺北市幸町[illegible]教會堂にて執行する

遺骨と遺兒臺北驛に到著

涙の出迎へで雜沓

十七日午後一時十四分、空は[illegible]なく晴れながらも大屯おろしの寒風は思ひなしか[illegible]を刺し心を刺す[illegible]ひある臺北驛頭[illegible]待てはるか海を隔てた[illegible]從の横行する

福州の地

に[illegible]々しくも[illegible]する[illegible]前途有爲の[illegible]を以て兇刃に斃れ今は悲し[illegible]の令兄水戸晤郎氏、故夫人の嚴父前川孫一氏に母堂チヨウさんに護られ[illegible]に再び臺北の地を踏む、出迎の大塚文教局長を初め多數の官民一同一齊に敬禮、故人の英靈に對して[illegible]なく悲しみの色は[illegible]中に

遺兒睦子

さんのいたいけな姿は等しく人々の心を打つ。婦人の出迎へ人の中にはハンケチで顔を掩ひて[illegible]を留め得ぬ有樣、[illegible]福州まで出迎へた赤堀學務課長[illegible]驛下車し[illegible]多數の關係者によつて贈られた多くの親しき花環に[illegible]れた遺骨は[illegible]自動車で前川氏宅へ向つた

福州に於ける水戸訓導夫妻の葬式

附殿の主なる者、水兵、臺灣籍民等多數で嚴肅であつた（福州通信）

根を吞んで福州の地で斃いた水戸訓導夫妻の葬儀は十三日福州居留民會にて執行されたが、靈柩に向つて弔詞を讀んでゐるのが赤堀學務課長、參列者中には邦人各

福州の葬儀は空前の盛儀

赤堀學務課長の談

[illegible]き姿となつた故水戸訓導夫妻の遺骨を乘せた[illegible]は何とはなしに吾人の心魂を刺す汽笛一聲と共に基隆驛に到著した。故水戸參雄同光子と記された遺骨は白布に包まれて、福州まで急行した故訓導[illegible]

本船へ訪れた記者に赤堀課長は遺骨を前にして語る

葬儀はお蔭で非常に盛んでした支那側は特に深い同情を寄せ一個聯隊約百二十名の儀仗兵を差向けられワザ／＼省政府の代表者まで參列して下さつた、それに英國領事を初め我陸戰隊も加はり福州空前の盛儀で我々としてもじき水戸氏夫妻の靈を慰め得たものと感じてゐます、臺灣全島民福州全市民の深い同情を一同は感謝してゐる次第です、我海軍では私達の居る間兵士を學校に分宿させて下さいました、それに歸る時は賊徒の北上でワザ／＼全乘組員警戒をして見送つて下さいました福州は目下戒嚴令下にあり支那側では我國に好意を寄せるため夜八時過は五間置に武裝の兵が銃劍をきらめかして[illegible]近を警戒してゐます、共産軍が福州の近くまで來てゐて支那側と交戰中で市民は戰々兢々としてゐます、犯人の目星はまださつぱりついてゐません

書きかけた手紙も

机の中から發見

水戸晤郎氏の談

商船樓上で休憩中の令兄水戸晤郎氏は打ちなだれて記者の質問にポツポツと答へる

全く思ひがけぬ事件でした、私の郷里は福島で私は樺太にゐますが兩親は郷里の方に住んでゐます、八人兄弟で參雄は三男でしたが次男は五つの時死んだため私として小さく[illegible]相手になるのはあれ一人でした、それに今參雄を失つて私としては唯一本の杖をもぎ取られたやうな氣持です、大正十五年參雄が臺灣へ來る際に別れたのが最後にならうとは夢だに思つてゐませんでした、十二月に北上[illegible]田村總領事の遭難の記事を新聞で見て非常に心配になりましたが四日になつて突然の電報にさては危險と見て引揚げるのかなと思つてゐました所それが慘劇を知らせる電報なのでした昨年の十二月十九日手紙を受取りましたが退院して不自由だから光子を呼寄せたいと書いてありましたそれから本月の二日に又手紙が來ましたがそれには睦子は肥つてゐていつもニコニコしてゐるので家庭がパツと明るくなつたやうだとありまして私達夫婦はどれだけ參雄の幸福を祈つてやつたかわかりません、而しこれが最後でした福州では何か書きかけてそのままにしてあつた手紙を机の中から見つけ出しましたが何れも涙をそそるためになつたばかりです、睦子は前川さんに預けて置きます

遺兒は

前川氏が養育

夫人の母堂チヨウさんは晤郎さんの奥さんは病身でお子さんも郷里の親許に預けてあるとのことですから睦子は一先づ私達が引取つて育てることにいたします、氣候が急に變れば惡いでせうから内地に連れて歸ることは出來ません

とこれ又涙然となる、前川氏も默々としてクリスチヤンらしい[illegible]に[illegible]へてゐるだけに他は期せずして沈んで行くのだ

（寫眞は臺北驛に著いた水戸訓導夫妻の遺骨）

逃走蕃の捜査は十七日で打切る

今後は要所に蕃人を配し

持久的捜査方針をとる

【埔里電話】能高郡警察課の逃走蕃人は相變らず逮捕されず警察局においては十七日をもつて大部隊の捜査を打切る事とし郡警察課より出動中の捜査隊長佐々木警部を初め小形、尾崎の各警部補以下巡査部長巡査三十餘名全部十七日午後一時下山した

今後は霧社分室[illegible]を據り從來の出張所人も殆ど平數に減じ各駐在所警察官指揮の下に要所要所に蕃人を配置し持久的捜査方針をとる事となつた、伊藤埔里郡警察課長も十七日午後四時下山、埔里に一泊十八日歸州する事となり下山の警察職員は何れも六日に亙る山界の捜査に[illegible]ボウ／＼として寒さと睡眠不足とで殆ど聲を嗄らし[illegible]疲勞の色を見せてゐる

捜査の失敗は

意見の不一致？

今回の逃走兇蕃捜査方針は州當局と郡警察課とに意見の一致を缺いた憾あり、郡警察課は兇蕃人逃走當初において郡當局では蕃人は結局自宅に歸るであらうから警察職員及蕃人多數の大部隊で捜査する事は逃走蕃人を警戒せしめ却つて自宅に寄つかず發見逮捕を困難ならしめるとの見解からある程度の放任逃走主義に出でんとせるも州警務部當局においてはこれに反對しかかる大部隊捜査にいたり逃走以來六日間に亙るも發見されざる結果を生じたのではないかと噂してゐる向もある樣である

柳生一義氏の

十三周忌法要

臺灣銀行では來る二十日午後四時から市内[illegible]寺に於て前頭取柳生一義氏の第十三周忌法會を施行するに付參列者の[illegible]を[illegible]するも[illegible]への供物等は一切受入れないと

大逆事件關係の責任者處分

十六日決定さる

【東京十七日發電通】大逆事件に對する主要責任者處分は十六日決定したが他の關係者は譴責、訓告處分に付し朝鮮、上海、兵庫、山口、神奈川、長崎等の責任者處罰に就ては書類整備の上審議する筈

懲戒免は長氏一人

其他は減俸處分

【東京十七日發電通】大逆事件責任者處罰に關する高等文官懲戒委員會第一回目は十六日午後三時より開會、意見交換の結果懲戒免官は長前警視總監一人に止まり警務局長、麴町署長、警保局長、官房主事、警務部長、特高課長、警察課長は減俸處分を見る模樣である

社會事業の全島大會開催

十八九日高雄で

【高雄電話】臺灣社會事業協會方面委員總會、第四回全島社會事業大會は十八日、全島方面委員大會は十九日高雄市青年會館において開催さるるがその順序は左の如し

第一日通常總會

開會の辭江原副會長、挨拶大塚會長、會務報告江原副會長、會[illegible]

第一日社會事業大會

開會の辭江原副會長、挨拶大塚會長、總務長官、來賓祝辭、協議會（午前十一時より午後四時迄）

第二日方面委員大會

開會の辭江原副會長、挨拶大塚會長、來賓祝辭、協議會（午前九時より正午迄、午後は[illegible]）

第三日は出席者を甲乙兩班に分ち甲班は高雄市、屏東街の社會事業施設の視察の上屏東にて解散し乙班は潮州、枋寮、枋山其他の社會事業施設を視察し[illegible]にて解散すると

第二愛國機錦州に向ふ

【奉天十七日發電通】愛國第二號機は十七日午前七時三十分奉天東飛行場發錦州に向つた、錦州にて本庄司令官の搭乘を待ち直に奉天に引返す豫定である

本庄司令官奉天に歸還

【錦州十七日發電通】本庄司令官は第〇〇團長と錦西地方の兵匪討伐並に錦州今後の治安維持方法に付き協議を重ね十七日午前九時半錦州發愛國第二號機で奉天に歸還した

輜重兵隊の行方

依然杳として不明

【錦州十七日發聯合】錦西の匪賊一掃附近で匪賊と激戰以來一個に亙り杳として消息を絶つた松尾少尉指揮の輜重兵隊の行方を捜査しつつあるが同小隊の消息は依然杳として不明

紙屑同樣の奉天票

流通を強制され

北平附近の住民大弱り

【天津十六日發電通】過日北平に[illegible]た兵隊は張學良から二千五百萬元づつ支給された奉天票を持つて居り附近住民は紙屑同樣の奉天票流通を強制され困り果ててゐる、[illegible]ため一兵卒でも二、三十圓の奉天票を持つて居り[illegible]北平で印刷された奉天票で交換は給料として之を使用せる

珍風景を現出した法曹界の野球試合

遂に法院團勝つ

次回は梅屋敷で

臺北法曹界で人氣の焦點となつて居た法院對辯護士團の野球試合は十七日午前十時半から北一中校庭で本社運動部長大澤氏球審、湯川氏壘審を務め威勢良く開始された、先攻は法院側で第一回法院六點をバタバタと入れてしまつたので辯護士團は氣分がら稍意氣沮喪氣味だつたが二回の裏で辯護士團三點を得たので大いに氣勢上り之れなら大丈夫だと熱狂的の試合を見せ法院團は第一回六點、四回五點、六回三點、七回二點、八回四點、九回二點、計二十四點を入れたに對し辯護士團は

第一回三點、二回三點、三回無、四回無、五回十點、六回無、七回二點、八回二點、九回無、計二十點

と云ふ好成績を示し二十四對二十で

法院

團が勝つて午後零時半に試合は終つたが當日は野球チームの關係者は一人の缺席も無く方には判官、辯護士夫人連と梅屋敷から應援に來るし後援の夫人連も來て激賞しながら應援して居たので選手にも活氣がついて居たやうだつた、試合が終ると一同は豫め用意してあつた自動車數臺で梅屋敷に乘り込み晝食はランチで賑やかに大澤球審、湯川壘審の勞を犒つた

あれば後藤法院長はエラーを批定した方がモツト面白からうなどの[illegible]で更に梅屋敷の大廣間で辯護士會[illegible]を開き次回の

復讐戰

は梅屋敷の[illegible]を[illegible]りて開會す可しと申し合を終りて午後五時散會した、今回の試合は四十切の野球ゴツコと云ふものも[illegible]じた方がモツト面白い[illegible]たが試合終了後一時間足らずで選手連に[illegible]いと云ふもの[illegible]梅屋敷の待合[illegible]は之等の人が[illegible]になるので一時病院の觀があつた

鐵團優勝

全島ラグビー決勝戰

西部ラグビー協會臺灣支部主催鐵道部後援下の第[illegible]全島選手權ラグビー大會一般部決勝戰は鐵團對高商の試合は決勝の日を迎へた十七日午後三時より[illegible]に於て行はれたが高商の前半戰はよく鐵を陣內に押込んだが後半戰に[illegible]して惜敗した優勝チーム鐵團は山本上野に谷本監督球部長より牛[illegible]を授與せられて戰は終つた

鐵團 0 （0—14 / 20—3） 17 高商

（主審有田 線審岡 白坂）

【經過】（前半）午後三時鐵松村キツクオフ5分高商FWドリブルにて鐵陣25碼線に入る高商ペナルチイキツクを得て山崎ゴールを狙つたが成らず△12分中央線右ラインアウトはルーズとなり高商永戶球を得て右にカツトし松尾ダツシユ見事なトライを擧ぐ△16分鐵自陣右25碼ラインアウトの球を高TBパスに移つたが落球高商田村インターセプトして郡築に渡し郡築强引に中央に飛込んでトライ△27分高商鐵陣左隅ラインアウトの球を[illegible]補つて其まま飛込んでトライ△32分高商自陣右10碼よりキツク鐵バツクスのミスに乘じ高FW田村左ポスト下にトライ（山崎ゴール）ハーフタイム（後半）高山崎キツクオフ3分鐵鋭く攻めゴール直前のタイトから球を得堀澤ブラインドを衝いて右隅にトライ△13分高自陣右隅直前に反則し鐵ショートペナルチイキツクを松村飛込んでトライ△18分鐵自陣右25碼ラインアウトの球を得安田快走ゴール左にトライ△20分右隅10碼のラインアウトの球を高補つたがHBのミスを衝つて鐵中島右隅にトライ△21分10碼線右のルーズから鐵堀澤球を得ブラインドを衝いて右隅中央にトライ△27分右隅ラインアウトから鐵球を得て齋藤に渡り齋藤中央にトライ（松村ゴール）△31分中央線のルーズからの球を高商得てショートパントにて鐵陣に攻入り田村松田郡築と渡り左ポスト前10碼にトライ△タイムアツプ直前中央線邊のルーズより高商割つて出でキツクの球はインゴールに轉々とせんとするを鐵FB田内危く押へてタツチダウン危地を脫しノーサイド

高商

[illegible]

鐵團

[illegible]

戰の跡

比較的交通の不便な帝大競技場にラグビーマニアーの姿を而も女性フアンの數をも併せて吸引するやうにまで到つたことを祝びたい前半高商FWは實によく動いてブレツクアツプも速くよく球に馳いてルーズにラインアウトに優勢を持し鐵のFWの中央を割つてFWダツシユに鋭い所を見せて鐵TB線をよく活かしてみた3トライ1ゴール14點を得たに反し鐵團はノートライで稍焦り氣味のためか不味いプレーを續けFWの動きがなくTB線を活かすことが出來ずにハーフタイムとなつたが後半風上を利した鐵は鋭く攻め高商のFWの動きが鈍くなつた隙を衝き松村、安田、中島などのFWトライ堀澤、齋藤、堺などのバツクスは高の拙いTB線を破つて5トライ1ゴールを得遂に1トライの差を以て辛勝したが鐵は近來にない苦しい試合をしたもので兎も角決勝戰に相應しいゲームであつた

北高模型飛行競技

臺北高等學校工科會主催模型飛行機競技會は十七日午前十時より練兵場に於て行はれたが競技成績は次の如くである

1 距離210米56 滯空21秒4 トラクター單葉 翼巾1.20米 胴長0.96米 渡邊英一（高校尋）
2 距離107米 滯空23秒 フオツカー單葉 翼巾1.1米 胴長0.9米 山下利男（北一中）
3 後藤眞（高校）4 田邊信雄（高校尋）5 淺川典男（北一中）風速五米

國粹會から聲明書を發表

紛爭事件から手を引く

【東京十七日發電通】新興力士團から髮の毛を斷られた國粹會では十六日午前十時から虎の門の本部に幹部集合午後六時まで協議を重ねたが「吾人の誠意足らず調停不調に終つたことは慚愧に堪へず」との聲明書を發表し代表三名は午後八時半駒込の新興力士團本部を訪ひ天龍、大の里等と會見し聲明書の所信を表し協會と力士團との紛爭から手を引くこととなつた旨を述べ今後も宜しくと挨拶を述べた

新興力士團

勢揃ひして神詣り

角道の革新を誓ふ

【東京十七日發電通】新興力士團は髷を斷つて斷髮を[illegible]し[illegible]に向つて邁進することとなり十六日午後六時半から駒込の本部に天龍、山錦、大ノ里以下三十二名勢揃ひして駒込神明町大社神社の神前に莊嚴な[illegible]式を擧行し一同二拜して將來角道の革新に盡すことを神に誓ふた

先代の墓前に經過を報告

【東京十七日發電通】[illegible]式を擧げた新興力士團は角道刷新の爲めのスタートを切るに先立ち先代出羽の海の墓前に事茲に至つた經過を報告することとなり十七日午前九時三十分天龍、大の里、山錦、綾昇、和歌島、新海の六名が下谷谷中の墓地に到り經過報告をした後兩國[illegible]本部を訪問[illegible]に就ての[illegible]とお詫を爲した

岩切新竹郵便局長

赴任

【花蓮港電話】新竹郵便局長に轉任した前花蓮港郵便局長岩切氏は十七日花蓮港一泊、十八日臺北行赴任の途についた

貴金屬泥棒の巧妙なやり方

取調への係官も驚く

【臺南電話】臺南市公設質舖の[illegible]窃取、逃亡中[illegible]へ忍び入つて多[illegible]の貸金圖を[illegible]

臺北

北署の手に檢擧された被疑者臺北市大和町四ノ二三九林[illegible]生（三〇）の取調べとして同署の[illegible]刑事は同人を[illegible]十六日[illegible]に到り同署で[illegible]を行つた上十七日來南、臺南署の[illegible]取調べを行つたが同人の自白する所によれば公賣に押し入つた[illegible]日大體[illegible]で金指環を五十七個盜り

旅費

を作り高雄に飛んで[illegible]跡を晦ました[illegible]に來り本町二丁目[illegible]の貸金[illegible]に[illegible]内容を物色して[illegible]りつけたその數五十[illegible]七百個に[illegible]し入質[illegible]のつき易い方法をとらなかつたことに[illegible]の周到さを示してゐた、[illegible]して[illegible]品の大部分は殆ど[illegible]して[illegible]を[illegible]てゐないため[illegible]品として[illegible]することはかなり[illegible]ですがこれらの點にも[illegible]ってゐるものと見らる、[illegible]同一行は臺南市の調査を終つて十七日夕[illegible]に行きその[illegible]中に

立寄

つてそれ／＼調査をなし十九日[illegible]の答であるがその[illegible]分地は殆ど全島に[illegible]つてゐると

花蓮港の臺北一高女同窓會

【花蓮港電話】臺北一高女出身の花蓮港[illegible]在住者の同窓會は十七日午前十時から昭和記念館で[illegible]式

花蓮港高女の音樂會

【花蓮港電話】花蓮港高等女學校では十七日午後一時半から同校講堂で第一回音樂會を開催したが[illegible]時午後[illegible]今回の試みは[illegible]たる音樂會であつて同校の特色とする[illegible]を[illegible]化して生活に直接交渉せしめる[illegible]なものを[illegible]した作品を公表し[illegible]來に多大な感銘を與へたやうであつた

コンサートと

舞踊の夕

十九日[illegible]で

ビクターレコード一月新譜發表コンサートが十九日夕七時から臺北[illegible]で開かれる、當日はおづきさん[illegible]山田耕筰[illegible]三郎[illegible]も出演して新譜[illegible]を見せる筈である、[illegible]レコード[illegible]ソングの唄ひ手及び曲名[illegible]と作曲者等を語る[illegible]がある由

陳清汾氏個展

日延べ

十八九兩日間

[illegible]展覽會に開催中の[illegible]陳清汾氏[illegible]作品展覽會は十七日は日曜日なので入場者が非常に多く盛況であり、而も[illegible]者もあるので十八、十九の兩日間日延べすることとなつた、來場[illegible]して[illegible]をやいてゐる[illegible]てゐるので[illegible]足して[illegible]が[illegible]つたのは[illegible]らしい、作品が揃つてゐるので[illegible]あまり[illegible]なので日延べする事にした」と語つてゐた

日支問題講演會

鐵道ホテルで

日支問題講演會は十八日午後六時より鐵道ホテル西餐場に於て開催される、出演者は[illegible]今吉、松井猪兵衞、中野[illegible]、田中正、[illegible]三郎その他名數

中村俊三氏の歡迎

野球（花蓮港）

【花蓮港電話】花蓮港廳[illegible]出張所[illegible]主任として赴任した中村俊三氏の歡迎野球試合は十七日午後二時から花岡山グラウンドにて[illegible]門馬氏が十餘年[illegible]花蓮港にあつた因緣から中村組と門馬組とに分ち紅白試合の結果中村組八門馬組[illegible]の成績で[illegible]し午後四時終了した

花蓮港理髮組合總會

【花蓮港電話】花蓮港理髮組合では十七日午前九時から公會堂にて定時總會を開き[illegible]告後支廳長の訓示、松本[illegible]の[illegible]講話があり引續き同所に於て盛大な[illegible]會を催した

松竹京都大船特作　河原崎[illegible]
主演林長二郎、柳咲子、堀正夫[illegible]
投げ節彌之
みちのくの巻解決江戸の巻三篇十七巻一擧上映
蒲田男女優出演
ビッグパレード
2世界
特別廣告

漢文臺灣日日新報

日俄不可侵條約
俄國政府希望締結
會見兼攝外相及芳澤氏

滿洲事變勃發以來。蘇俄政府對滿洲國際關係。愼重注意。果然欲確立俄國之滿蒙位置。決意締結日俄不可侵條約。近者芳澤外相。經由西比利亞途次。蘇俄外務人民委員利陀夫氏。求晤芳澤外相。外相在莫斯科。與氏會見。利氏提出不可侵條約締結之事。一方駐日俄國大使篤氏。去十二日。訪犬養兼攝外相。亦聲明同條約締結之交涉。當時犬養兼攝外相。頗諒俄國意向。而對于條約問題。不示何等積極的態度。俄國既與法國、波蘭。締結同種條約。今次亦望與日本締結同條約也。

滿蒙國家建設準備
幹部大體決定

十六日奉天電。十五日起。東三省主腦部。在奉天。開滿蒙國家建設準備會。相當進步。新國家主腦部近且決定大體如左。

大總統　○○○
行政委員長　臧式毅　司法院長　趙欣伯
監察院長　張景惠　資源委員會長　于冲漢
交通委員會委員長　丁鑑修
奉天省長　臧式毅兼任
吉林省長　熙洽
黑龍江省長　馬占山

學良給交二十萬元
命黃顯聲攪亂日軍
謀奪還錦州

十六日奉天電。張學良對于招至北平之黃顯聲。命其以義勇軍。攪亂日本軍後方。啓東北奪還端緒。俾其操縱義勇軍之務。而交二十萬元。責于十五日。對在熱河方面之義勇軍。輸送彈藥。命其兩三日中。奪還錦州。又山海關、灤州方面一帶學良軍。仍與山海關以東之日本軍對峙。錦西方面別動隊。襲日本軍腹背。十六日朝來。一齊出以攻勢云。

欲買吳佩孚氏歡心
學良勸其入北平
其出處一視其態度

十六日天津電。吳佩孚氏既抵綏遠。張學良欲買其歡心。慫慂其入北平。當地直隸派要人。謂吳佩孚氏若入北平。恐受監禁。故形勢未定之間。宜住綏遠。已發警告。吳之再起。在其舊部下于學忠氏之態度如何也云。

中國代表部通牒
泣訴聯盟理事會
以日本有逐當局野心

十五日壽府電。聯盟中國代表部。發左記通牒。泣訴聯盟理事會。

吉林省首府。被占領以來。省政府將臨時首府。移諸賓縣。而日本軍又自同地空中爆擊。斯乃日本軍。對滿洲各地中國諸權力者當局。有驅逐之野心。是日本將聯盟規約及理事會決議。無不法侵害也。

張學良發奉天票
交榮臻充爲軍餉
住民被强制流通

十五日天津電。日前赴北平榮臻。黃顯聲氏。由張學良氏支給二千五百萬元。右係北平所印刷奉天票。榮臻氏爲用于給料。一兵卒恰有二三十圓奉天票。附近住民。被强制流通奉天票。

民國日報不敬記事
總領事訪上海市長
促其履行要求事項

十六日上海電。民國日報不敬記事揭載問題所關。村井總領事。十六日午後。帶同白井副領事等。訪問吳鐵城市長。因鑑及日本國體。指摘本件重大性。極力要求我聲明事項之從速履行。吳市長亦本日民國日報。照政府注意。先發辯明文。表遺憾之意。且對我聲明事項。表示誠意。目下方磋商陳謝處罰諸具體的方法也。

陳外交部長傲語
國交斷絕乃不得已

十六日南京電。外交部長陳友仁氏。本日對記者。豪語如左。

對日國交斷絕。乃事情所不得已。具體案正提出于政府。近將決意斷行。想此案最有效果。

佐藤大使
將任國際聯盟
日本理事

十七日東京電。芳澤氏就任外相。將任命佐藤尚武大使爲國際聯盟理事會日本理事。前交涉中。十九日閣議。正式將決定云。

林總領事
將陞大使
駐伯剌西爾

十七日東京電。目下歸朝中之林奉天總領事。內定親任伯剌西爾大使。伯剌西爾國政府。已致非林氏。促其同意。近將正式決定舉親任式。又赴任似在三月上旬也。

大逆事件
責任者決定

十七日東京電。對大逆事件主要責任者處分。十六日決定。其他關係者。附諸譴責、訓告處分。而朝鮮、上海、兵庫、山口、神奈川、長崎等責任者處罰。擬于此頃整備後審議。

葉山枝隊
掃蕩兵匪
打通線方面

十六日奉天電。葉山枝隊占領通遼。爲掃蕩打通沿線兵匪。朝來沿打通線南下。與從新立屯方面北上中之村井○隊討伐隊。呼應將于一週間內。掃蕩打通沿線一帶兵匪也。

加藤少佐
請參實戰

十六日奉天電。加藤少佐操縱爆擊機愛國機第二號飛來。對奉天飛行隊長永峰大佐。謂出發時。蒙友人贈與愛光銘刀。故不歸國。懇請實戰參加。而不許。結局同少佐以下操縱兩機以當空輸之六飛行將校。變更豫定。暫時留滿洲出征于戰線也。

前美術院長
福原氏逝

十七日東京電。前帝國美術院長貴族院議員福原鐐二郎氏。前患腦溢血症療養中。十七日午前零時四十分。逝于牛込自邸。享壽六十五歲。

朝鮮軍由滿洲召回
另由內地派往瓜代

十七日東京電。目下關東軍中堅之朝鮮軍管下混成二個旅團。若長留于滿洲。則於軍制改革。朝鮮欲行增師。今日情勢不合。爲此須令歸還原駐地。另由內地派遣同數程度之部隊。以爲交代。關係當局間。頗有此議。想來月中必實現。然其交代補充實現時。當最初之衛者。乃既由其師團管下。派遣混成一個旅團之內地第○師團司令部以下殘餘部署也。

反對日華斷交宣布
廿日將開執監會議
投票決定可否

十五日南京電。十五日行政院會議。討議對日外交關係斷絕宣布問題。孫科。陳友仁氏等極力支持斷行宣布論。而政府部內則謂如斯祇是墜于日本術中。招致重大結果。強硬反對。遂不決定。二十日頃。欲開臨時中央執監全體合議。○投票決定採否。對日國交斷絕反對急先鋒。乃吳稚暉。顧孟餘氏等。而蔣介石派領袖[illegible]反對陳友仁氏之外交方針。孫科果有排除此反對。斷行宣布之決意否。尙屬疑問。但國民政府內。主張日華直接交涉者無一人。對日方針。念見硬化。信新政府。只日華直接交涉爲外交方針目標者。乃不解最近政情變化者也。

減一成餘
土城庄豫算三萬

既報海山郡土城庄協議會。去十五日午前九時。假紀念館開催。松野郡守。遠藤州地方課屬。川野庶務課長。藤村街庄主任等臨席。協議會員十一名中九名出席。張助役代庄長。說明豫算編成方針。遂入議事。丹泉氏。熱望避病舍建築。須要求補助。並問簡易水道所設。及他二三氏。亦各有所質問。張助役。一々詳爲說明。各讀會全員一致無有異議可決。午後二時閉會。續在後場開宴慰勞。該庄本年度歲出入各三萬圓。比較去年度。減三千三百七十二圓。蓋爲景氣不況。特減削云。

民政黨發表
黨總務外本部役員

十七日東京電。民政黨將臨休會後議會。二十日黨大會席上。發表黨總務外本部役員。整頓院內外陣容。其人物大體如左。

▲黨總務(十名)
井上準之助(筆頭、九州)
木檜三四郎、小坂順造(關東)
山本厚三(東北々海道)
加藤鯛一或井上剛一(東海)
廣瀨德藏、堤康次郎(近畿)
小川鄉太郎、川崎卓吉(中國)
小西和(四國)
▲顧問(追加)
賴母木桂吉、吉田磯吉、鵜澤宇八、高木正年
▲幹事長　永井柳太郎(留任)
▲政務調查會長　添田敬一郎
▲黨務部長　野田文一郎或加藤鯛一
▲情報部長　大麻唯男或淸水長鄉
▲遊說部長　內崎作三郎

東北各省組織東三省
軍制財產整理委員會
沒收東北軍憲財產
充新國家建設基金

十六日奉天電。奉天吉林、黑龍江各省政府。組織東三省軍制財產整理委員會。將學良其他舊東北軍憲關係者財產沒收處分。所得金項。充新國家建設基金。該委員會十六日成立。

對華輸出漸回復
青島起貨驟增加
華南購買氣象旺盛

大阪十六日發本社特電。事變勃發以來。亙四個月。我邦對華貿易。受極度排斥。昨年度對華出超額。較前年。激減八成。中華商人。依此打擊。殊見苦痛。然據現地情報。排日緩和。空氣濃厚。而輸出商間。亦漸現排日緩和之徵。即大阪貨物。向大連輸出。自昨年來。徐々回復。唯對華貿易根幹。大阪積向上海輸出。唯上海爲南京政府之本。依然不振。十二月中。大阪積。較十一月。僅增二百噸。呈不振狀態。入一月仍不脫舊態。最不可思議者。爲一月上旬起。向青島積貨。急激增加。十日發原田丸(原田汽船)約六百噸。十六日發日光丸近海郵船八百噸。較客臘之不振。殆見加倍。照此形勢。一月一箇月間大阪積貨。想可達四千四五百噸。若較十一月之二千四五百噸。頓呈約三倍之盛況。殊如可注目者。爲增加貨物大部分。爲綿製品。南華方面。在貨告缺。介青島。受日本品之供給。舊正後之夏物。中華經濟上。必然要求。日本品之對華輸出。漸見得回復云。

移住與地蕃
開拓水田

高雄州理蕃課。爲蕃人授產一事業。移住[illegible]地蕃人五百名于旗山郡下蕃地小野。使開墾水田[illegible]甲。其費由當局受[illegible]三萬九千餘圓。理蕃課岡和田技術員。于十六日到實地。從事測量。目下進行開鑿工事。按于本年中完成。

灘の生一本
銘酒　忠勇
醸造元　若林合名會社
特約店　桑田商店

大逆事件責任者
長前警視總監免官
懲戒委員會決定

十七日東京電。大逆事件責任者處罰所關第二回高等文官懲戒委員會。十六日午後三時開會。交換意見後。懲戒免官者。只長前警視總監一人。警務局長、麴町署長、特高課長、監察官等、則由當局受[illegible]處分。

岡郡諸協議會

岡山郡下各庄昭和七年度豫算協議會。依下記日程開會。一月十五日燕巢庄。同二十二日路竹庄。同二十五日阿蓮庄。同二十六日左營庄。同二十七日楠梓庄。同二十八日湖內庄。同二十九日彌陀庄。同三十日岡山庄。

臺北州跳舞
取締規則
十八日公布敷

臺北州跳舞取締規則。因遭政變。尙未施行。在平山知事意向。欲於在職中公布。州奧田警務部長。自昨年末。與該規則草案起草係保安課梅谷、菅野兩警部。數次召集。完成其最後案。自一週間前。送付交平山知事。由知事命令。召集該規則審議會。逐條慎重審議。既見完了。決于十八日公布敷。

臺北州青年訓練所
臺北及基隆設五處
州當局磋商籌備

本島靑年訓練所設置件。乃多年之懸案。客臘二十九日。由文教局長通牒州知事廳長。對市制實施地及移民村內地人靑年。自本年度實施。自前熱望設置靑年訓練所之臺北州臺北市。基隆市各當局者。並同關係者。一同大喜。立即籌備開設。爰于十八日午前九時。在州會議室開磋商會。蓋此爲本島初舉。且鑑于時局。固爲適切之施設。故臺北基隆兩市再三磋商準備。來于本年度豫算。計上經費。而內海臺北、吉富基隆兩市尹。亦熱心務期實現。一面兩市關係在鄉軍人會員、町內有志者。亦大贊成此舉。乃倣內地各處之例。就組織後援會。已進行計畫。又十八日磋商會。岩滿內務部長爲議長。軍司令部靑訓主任橋本中佐。督府社會課員等臨席。並將爲設立之靑年訓練所之小學校長亦擬臨席。靑年訓練所設置之處。內定臺北市四。基隆市一。計五處云。

板組總會紛擾
半爲感情

板橋信用組合。於去十五日午後二時。假板橋公會堂。開第十四回通常總會。州富田勸業課長。郡松野郡守。川野庶務課長。其他官員。及來賓多數列席。林組合長。述開會辭。林常務理事。報告經過。林監事林柯棟氏。報告監査。組合員中。有發言不信任其報告者。必要詢朱常務監事。出爲報告。議場一時紛擾。當局不得已。乃以監事林長雲氏報告。自是質疑百出。或問定款變更。不當貸借。次議理事朱四海三氏辭退。組合事山本義信。林仁榮。員。又求本人出爲說明辭退理由。後林氏出席答辯。略訓自己老衰。且以不稱衆公私忙碌。質問又紛出。遂得監督官廳斡旋。得全員同意。留任三氏。然林氏雖諾。其他兩氏。則未可知。松野郡守。名富田課長。或訓示。或希望。閉會後。紛在組合事務所開宴。本年總會紛擾。推其原因。半爲感情問題云。

基隆信組總會
配當五分

基隆信用組合定期總會。十六日午後一時半。開于公會堂。小池產業主事、吉富市尹、赤木勸業課長等出席。和泉理長就議長席。事業報告後。就固定貸付回收整理及監事監査規定制定演說。次入議事。就固定財產目錄。貸借對照表。損益計算書承認件。六年度剩餘金處分件。配當金年五分。其他。無異議可決。唯就同年度內。對一組合員貸付最高限度八千圓之中。信用貸付至四千圓。超過額于二個年內整理等件。頗有多少質問。可決。他如總會議事細則制定件。質問紛出。結局多少修正可決。次有質問。考慮貸出金減利者。最後議長敍禮。小池主事。吉富市尹祝詞。午後四時告畢。繼于俱樂部開懇親會。

運轉揮發油機動車
臺東線面目一新

臺東線。自來四月新年度。運轉揮發油機動車。外尙設花蓮港臺東間夜行揮發油車一往復。又對現在花蓮港午前十一時十五分發。馬太鞍午後二時五分駛到。及玉里午後四時二十分發。臺東八時五十五分駛到列車。接通馬太鞍玉里間。而改編爲直通列車。又欲與東海自動車連絡。將揮花蓮港自動車時間。稍爲進前。而鐵道時間。適當延緩。使臺北方面旅客。得于午後十時頃抵臺東。現正研究。而揮發油車開辦後。照其實際成績。以後每年增發至二十輛程度時。對旅客運輸。全改爲揮發油車。唯貨物。以列車運輸。斯于鐵道經營上爲有利。此等將爲具體的研究。現在列車所要燃料石炭。由臺北方面移入。時價値五十圓石炭。運賃亦須五十圓。結局燃料炭爲市價之倍額。而運轉揮發油車。燃料運賃。比石炭大差。經費頗得節約。且揮發油車。比列車運轉尤簡單。便旅客以揮發油車一輛。可到目的地。故料得以經濟的經營。而對一般旅客。爲應時代之要求。增加運轉回數。以期交通圓滑。此計畫若見實現。則臺東線鐵道經營。復見一進步也。

桃園農倉
寄託米

桃園農倉。客年晩季寄託米額。圓稻混合米[illegible]三千三百五十八袋。蓬萊種混合米八袋。特定米一五四袋。計混合一二一、三六六袋。特定一五四四袋。豫定募集額二萬五○○○袋。尙未達半數。日平均之入庫二百六十一袋。

坡心信組
總會較鬧
役員選法創聞

員林郡坡心信用組合。數年來。役員分爲兩派。過去十四日。同組合會議室。開第九回通常總代會。照豫定議事。附各總代員審議。自開會起。至當夜六時。不見通過一項。極呈紛擾。結局依多數決方法。結果各案皆照原案通過。繼入理事監事選舉。又胡開一場。後又以多數贊成。選出黃永風、黃瑞造、徐木信三氏爲選舉委員。一任自當日起三日以內。要選出全役員。至十時閉會。實全島中未有之役員選舉法云。

故吳榮卿氏
本葬儀擧行

萬華故吳榮卿氏本葬儀。去十七日午前九時半。於新富町廣地。臨時設式場。安放人肖像。陳列祭品。及生花輓軸。並嚴舉行。遺族及會葬者。一同席定。僧侶誦經。親戚。友人。國語同窓會老松公學校同窓會。萬華同風會。大稻埕靑年團。萬華共勵會。吳廷宗親會各總代弔詞。陳天來氏。爲一般總代拈香。一同々時禮拜。朱阿西氏。代遺族謝辭。十時式畢。遺骨葬諸本願寺墓地。當日會葬者。多至數百名云。

陳氏畫展
大成功
再延兩日間

陳淸汾氏個人洋畫展覽會。自去十四日正午。開於市內榮町舊督府衙。是日先招待各界知友觀覽一節。如所報。以後三日公開。旣連日晴天。況又土曜日曜日。一般特多餘暇。內臺各方界風雅士女。往觀尤衆。陳氏一家父子兄弟。及有馬。和田兩畫伯。或在場接待。或導觀說明。究竟四日間。觀衆約六千人以上。在北個人畫展。可謂大成功。因決定再延兩日間。諸觀衆中。其或留心研究者。或個中人等。一人往觀四五回。一回往觀一二時久者。亦多其人。作品六十一點。約賣渉者。有十餘點。和田畫伯。評其作品。大略如左。

臺灣多產物。如美術家陳淸汾君。實其一大者。君爲臺灣美術將來。帶有大任務。況曾留學法國。積其研鑚之功。以臺灣美術家論。可謂最初一人耳。君年尙少。修業當茂。然其所作。於氣品。於着想。皆有可觀。猶如臺灣各種產物。各帶有臺灣特有香味。雖然美術與他方面不同。一面亦由於自然。送夜常要磨礪。一世生進。努力積久。工夫自至。君不僅恃天賦才能而安之明矣。其更考慮自己責任。精益求精。是所深望也。

山本義信氏
賜佩褒章

板橋街外協山本義信氏。平素不論公私。見義力行。其於板橋街時。爲獻御大典紀念運動場。獨力寄附一萬圓。當局頗嘉其志。爲之申上宮內省。客臘十日。荷蒙裁可。特授與紺綬褒章。去一月十六日午前十時。在海山郡役所。由松野郡守。舉行傳達式。同時亦對板橋信用組合。授與褒賞狀。蓋該組合。曾寄附一千圓。充爲板橋公會堂建築費云。

阿公店興產總會
損四千餘

岡山郡阿公店興產公司第十五回通常總會。去十日上午十時起。開於岡山公會堂內。首由楊理事長敍禮畢。即報告昭和六年度營業狀況。次入議事如下。(一)昭和六年度收支決算承認之件。(二)昭和七年度豫算審議。(三)役員滿期改選之件等。阿公店公司創立以來。每年成績良好。惟昭和六年度。因氣象不況深刻。自動車一臺。一日之收入。六圓乃至八圓。較往年度十四、五圓。減收過半。以故本年度。扣起損失金。達四千七百四十三圓。而役員改選結果。悉照舊任。出席者凡百餘名云。

花蘇道路開鑿
苦力頭亦受檢擧
證據物件押收如山

花蘇道路補修工事。從事中之交通局役員等。被發覺詐取人夫工資。去十四日。受蘇澳警察課。一齊檢擧一節。已如前報。檢擧同時。擧行家宅搜査。大南澳警官駐在所。蘇澳警察課。由數處出張所。押收證據物件。疊積如山。且續行檢擧。及搜査家宅。其中若羅東街請負師。當花蘇道路開鑿工事。爲苦力頭之蘇春生氏。去十五日。亦受檢擧。目下留置在大南澳駐在所。而交通局官吏。視爲本件元兇者爲轉勤花蓮港之伊藤技手。及爲其後任之鐵路工事主任桑木技手。其他工夫長。中島會計。齋藤某其他多數。既被檢擧。本件一經本紙報道。交通局異常狼狽。就中道路工事現場之某々技手等。亦寄行運動。然蘇澳警察課。[illegible]十六日夜。一網打[illegible]中。[illegible]派應援警官。往該地取調云。

市方面委員
磋商會

臺北市。十八日午後七時起。在新富町五丁目新富公會堂。開方面委員磋商會。出席者按七十餘名。協議事項。爲就向州下方面委員大會。及全島社會事業大會提所之議事項。研究磋商云。

內地米減收說
政商方面極力占買
或料減收一二百萬石

十五日後場。大阪期米連節起價。蓋因政府方面非饒。在東京乡買。而與政商有連係之神戸松浦一派。買勢益強。此蓋實收發表前。似得何等好材料。而海堀。楠岸。鈴木久等亦買。鈴木久自昨後場。既買一萬五六千石。而實收激減之人氣不衰。因海堀。湖政等占買。行情急硬化。一時弱氣按減百萬石。強氣按減二百萬石。神戸則謂減少更多。雖弱氣亦無與之應酬之氣力。或更狼狽買押。致此行情起至五圓一十錢高。蓋十六日大阪行情也。

文苑

輓吳榮卿君

吾友故吳榮卿君。本葬儀。於故執行。謹撰君生平之大要。而爲詞以弔之曰。君在稻江。今已先觀。自少而擴大夫之大人。君早見背。君自少。能早自樹立。至於今。方觀展布。以報春暉。奈何未果成就。遽歸道山耶。君有俊才敏腕。家庭社會。咸望大成。內之事畜。克全子之責。外爲群衆。進廣公益之途。奈何未果成就。遽歸道山耶。且君年纔三十有六耳。此間閱歷辛苦頗嘗。或造物者。姑以試練其才。而才既見矣。行亦磨礪。其所爲。爲大矣。奈何未果成就。遽歸道山耶。力爲強留之際。君之親若友。爲之盡苦力爭於最後一秒間。以庶幾其萬一也。而君竟溘然長逝矣。老々幼々。顧將誰依耶。雖然。萬華自昔稱善之區。且君之親若友。又皆有道之士。而生死不易者。其於老々幼々。豈患無行義之人哉。余信之不疑。君可以瞑目乎。

詩壇

花蓮港途上
豊南　西川纖

一路斜通絕壁間。車行半日怯危艱。
峽窮忽過虹橋去。更度山巒俯海灣。

大魯閣峽

峽口飛橋虹影懸。兩崖紅葉尙秋妍。
洞門盡處停車立。滿袖天風飄欲仙。

吉野村

種作舍稱模範村。花蓮港外拓平原。
如何今日荒蕪甚。兒女辭家入市門。

知本溫泉

斜陽沒盡樹含煙。一峽如瓶罨石泉。
浴後憑欄詩興王。倒尊歌嘯擬靑蓮。

吉野村詩。疑日郡會集中原則。抑亦內地人農夫。不適於臺灣所使然也。

潤菴漫評

旅館
漢文　臺日案內
內地人宿　臺北市[illegible]　復日旅館　電話[illegible]

雜件
婦人オーバー　[illegible]島屋　電話三八二番